～THE CIVILIZATION BLASTER～

絶園のテンペスト

原作：城平京
構成：左有秀
作画：彩崎廉

4

～THE CIVILIZATION BLASTER～

GC 絶園のテンペスト
～THE CIVILIZATION BLASTER～
4

原作 城平京
構成 左有秀
作画 彩崎廉

SE 1021

9784757532533

ISBN978-4-7575-3253-3

C9979 ¥457E

1929979004576

雑誌48124-13
定価：本体457円 ＋税

SQUARE ENIX.

絶園のテンペスト
～THE CIVILIZATION BLASTER～

GC ガンガンコミックス

彩崎廉

担当氏から
「彩崎さんのイメージ崩れるからもう変な自画像はやめてくれ」
「もっとオシャレな感じので」
と言われたので反省して
とびっきりの笑顔をオシャレ風にしてみました。

GC
絶園のテンペスト
THE CIVILIZATION BLASTER
4

原作 城平京
構成 左有秀
作画 彩崎廉

SQUARE ENIX
GC
ガンガンコミックス

THE CIVILIZATION BLASTER

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

絶園のテンペスト

～THE CIVILIZATION BLASTER～

4

原作◉城平京
構成◉左有秀
作画◉彩崎廉

絶園のテンペスト 4

~THE CIVILIZATION BLASTER~

CONTENTS

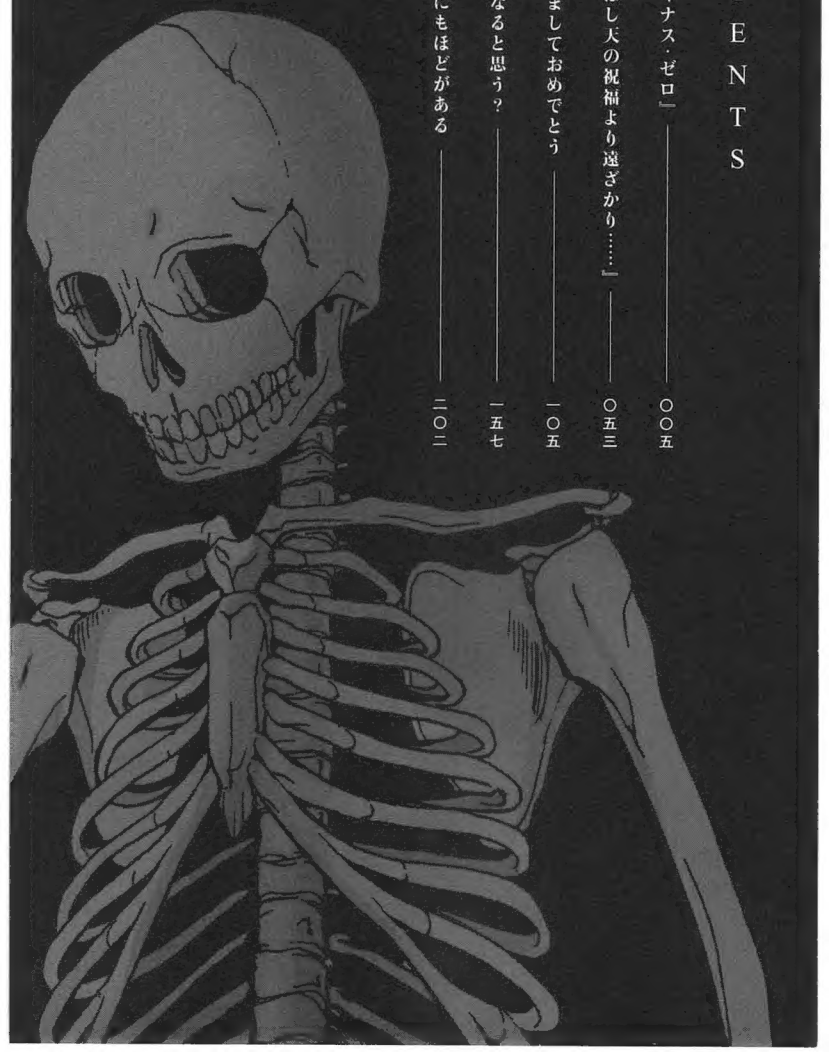
第十五話／『マイナス・ゼロ』 ―― 〇〇五

第十六話／『しばし天の祝福より遠ざかり……』 ―― 〇五三

第十七話／あけましておめでとう ―― 一〇五

第十八話／どうなると思う？ ―― 一五七

第十九話／厄介にもほどがある ―― 二〇二



第十五話:『マイナス・ゼロ』

「絶園の魔法使い」
だと…？
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

そんなの本当にいるのかよ!?
――真広
なぜ私が一族で姫宮として恐れられ
左門達が必死に封じようとしたと思う?
私の誕生は「はじまりの樹」の覚醒が近づいた証であり
私はその完全覚醒のタイミングを決める役割を担わされてもいるからだ!

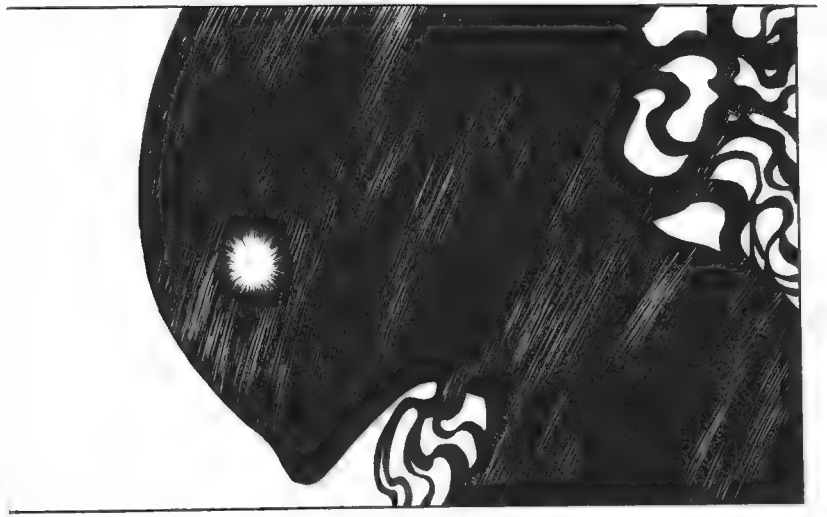
私がしかるべき時機と意志のもと一定の手続きを踏まん限り
「はじまりの樹」の完全覚醒は成らん！
その時は私という人間の手に委ねられているのだ！
ズッ
だから私を封じ
完全覚醒を遅らせようとしたのだ！
なんでまた葉風さんに…
神とても覚醒という大きな変動を
己の勝手な時に与えるのはよしとせん！
ズッ
人から見ても良いと判断した時に
目覚めようとの配慮だ！
バサッ
ガッ

そこまでしている「はじまりの樹」が現在の文明を食い尽くし
現存生物を死滅させるといった無慈悲な存在であるはずがない！
いや しかしです 姫様！
あなたは「はじまりの樹」を盲信し
危険性などわずかも顧みられない！
そんなあなたに正しい意志と時機が
おわかりになると言えますか！
つ……
「はじまりの樹」が人の意志に委ねているなど
まやかしに過ぎません！

「絶園の樹」を
見張らせる「鎮部一族」を
従わせやすくするため
そのような特権があると
思わせただけです！
ｸｸｸ…
特権があると
思っていれば役目に
誇りを持つし
自分達の意見を
「神」が無視しないと
思えば
反感も持ちにくい
そう言われれば
そうだけど……
そういうのは
どうでもいい！

「絶園の魔法使い」はいるのか
いねえのか!?
……
「絶園の樹」が己の復活を感じた時――
人間の中からひとり
破壊の力を使える者を目覚めさせる用意をしていた可能性は否定できん

その破壊の力で
復活を促進し
場合によっては
「はじまりの樹」覚醒を
決定づける姫様さえ殺せる者
として人の形をした分身は
理にかなっている



「絶園の樹」
復活が近づき
「絶園の魔法使い」が
生まれた可能性は
ないでもない…

「はじまりの樹」の
覚醒が近いのに
合わせて
姫様がお生まれに
なったように

…でも
現状じゃ
そいつが犯人としか
考えられないん
じゃ…

だからといってだ!
その「絶園の
魔法使い」が
お前の妹を殺した
犯人とはまだ言えん
はずだ!

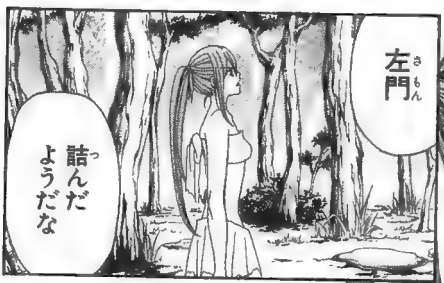
パシャ
なんという
ことだ…
「絶園の魔法使い」が
犯人であれば
左門の論理は
ものの見事に
反転する…！
フウ
「絶園の魔法使い」が
犯人なら
そいつが「はじまりの樹」に
操られて愛花を殺したって
仮説は成り立たないんじゃ
ねえか？
…だろうね

「絶園の樹」はこの世で唯一「はじまりの樹」の理を越える力を持っていうんだ
なら その分身である者が「はじまりの樹」に操られるなんて考えにくい
現に「はじまりの樹」の魔法探査にも引っ掛かってないんだ
なら
「絶園の魔法使い」がたまたま愛花を殺し
後になって「はじまりの樹」がそれを利用できると考え
オレと森風を結びつけたって考えた方が自然になるな
だったら
愛花ちゃんの死に
「はじまりの樹」は関係ない
逆に「絶園の樹」の方に大きく責任があるってことになる…

そして
「絶園の樹」復活を感じて
「絶園の魔法使い」が生まれたなら――
その復活を積極的に進めた鍋部左門
お前も間接的に愛花の死に手を貸したことになるよな
……
ニャー

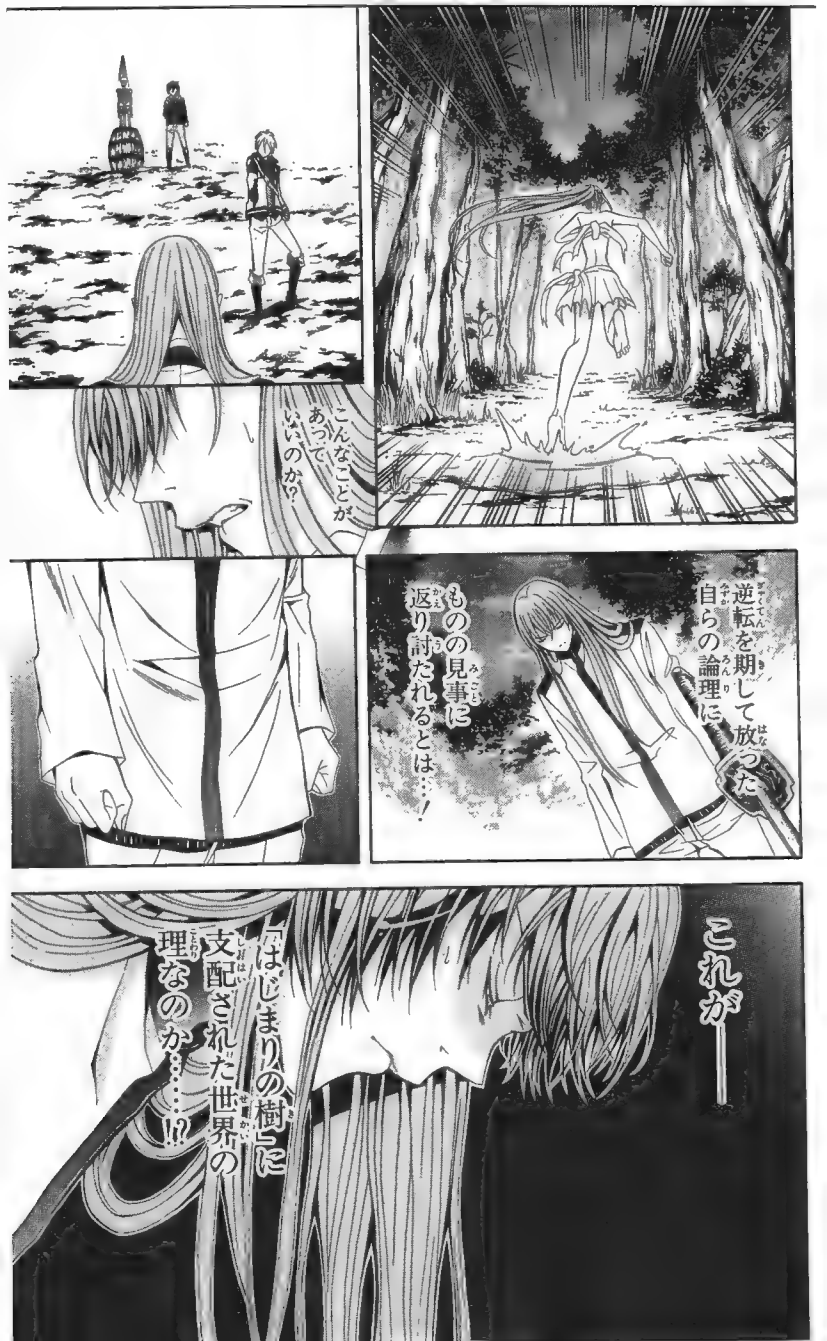
そうか
ひっくり返るんだ！
「絶園の魔法使い」が犯人なら
さっき左門の展開した真広が「はじまりの樹」を倒すべきという理屈は…
だったらオレが本当に復讐すべきは「絶園の樹」で
復活を指導したお前も復讐相手の中に入るよな
そっくりそのまま
真広が「絶園の樹」を倒す理屈に反転される！
これじゃ真広が左門側に協力する余地はない

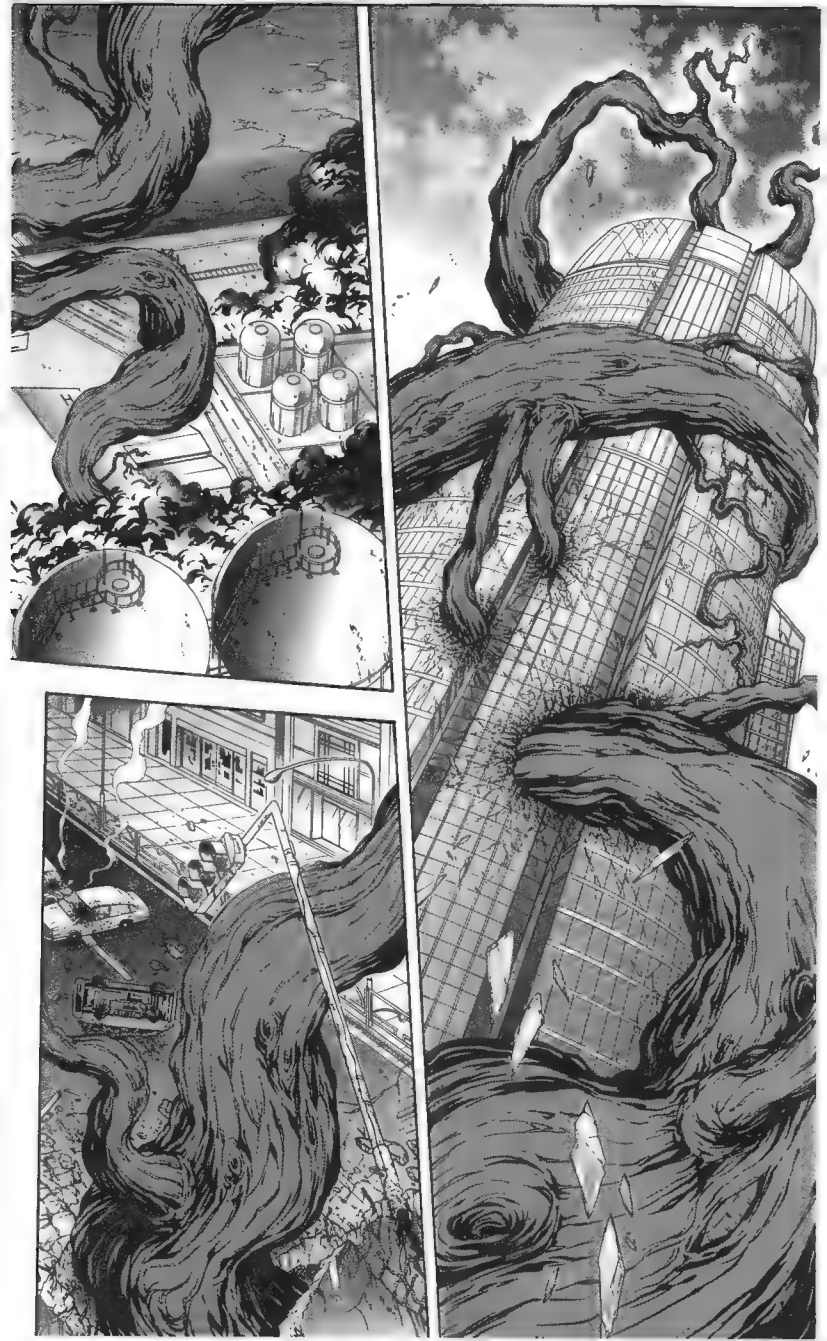
左門側の負けが
決まった……！


左門
詰んだようだな

後は私が
「供物」を見つけるのみ！

それで私はそちらに戻る！


こんなことがあっていいのか!?
逆転を期して放った自らの論理に、
ものの見事に返り討たれるとは…!
これが――
「はじまりの樹」に支配された世界の理なのか……!!



大きな樹の一部みたいなのが
あちこちに現れてるって!?

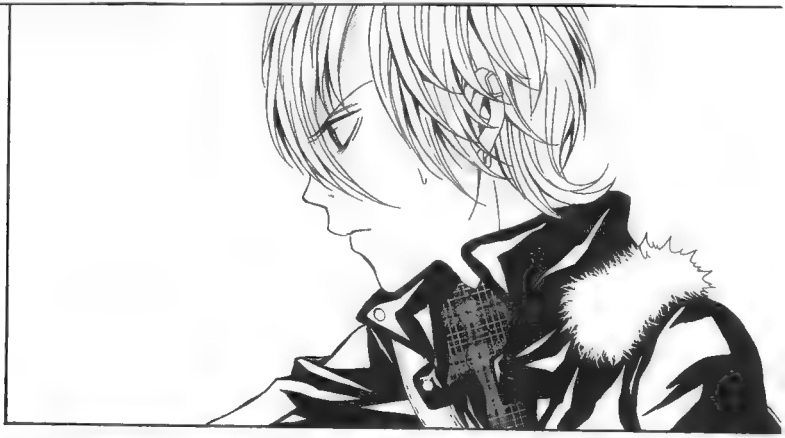
「果実」の影響か？
ええ？金属化は起こってない？
それらの「樹」はむしろ
金属化した生物を吸収しています！

ピキピキ
ピキ
聞いてないぞ
こんな現象…
どうなってる
……!?
ゴゴゴゴ
巨大な植物様の
物体は近くにある
建造物・人工物に接触
またたく間に
塵にしています!
なに……!

ゴゴゴゴゴゴ
まさか…
この「樹」は……
文明を喰らっているのか…!?

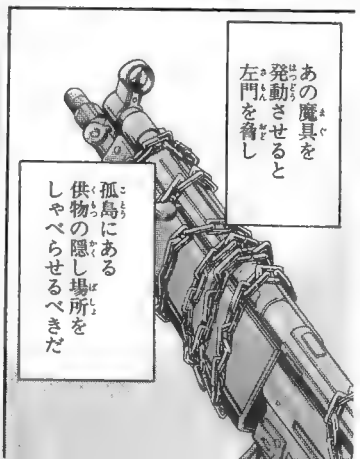
さっき「果実」が飛んできたけど
あれでパワーアップしたとか!?
ねえ!
あれも「絶園の樹」の一部か何か!?
いえ
あれは「はじまりの樹」の一部です

それもごくごく一部に過ぎないでしょう
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
「はじまりの樹」の一部って…
そんな…
潤一郎殿
「はじまりの樹」が覚醒したのですか？
なら世界は……
完全覚醒しなければそう大げさなことにはならないと思う
まだ棗風ちゃんはその決定と手続きをできていないはずだ
あくまで樹による非常処置か…
それともこれもまた
何か必然の出来事なのか？



…左門の負けは確定した

こうなれば
真広は葉風さんを早くこちらに戻すためにも——


あの魔具を発動させると左門を喰し
孤島にある供物の隠し場所をしゃべらせるべきだ

なのにそう動かないってことは…

…気に入らねえ
葉風にとってうまく行き過ぎてやがる
こんなきれいに逆転が決まるなんてどんな奇跡だよ
巧妙にだまされてるみてえじゃねえか
ジャラ
…「絶園の魔法使い」か真犯人かもしれねえ
だが確証があるわけでもねえ
考えようによっちゃ「はじまりの樹」がそんなやつがいるように見せかけ
オレが葉風にどうやっても肩入れする状況を作ったって解釈も成り立つ
魔法って言っても「はじまりの樹」の力を借りてるんだ
トニ
「はじまりの樹」がそのつもりなら探査結果なんていくらでも偽造できるだろ

犯人が普通の奴でも魔法探査で見つからないようにしたら
「絶園の魔法使い」がいるように錯覚させられる
ドン
「絶園の魔法使い」がいるっていう仮説はただ一点
「魔法探査に誰も掛からなかった」ってことで成り立っている
その魔法探査に疑いがあれば
「絶園の魔法使い」がいるって根拠はないも同じだ
吉野も同じこと考えてるらしいな
でもあいつは
まだ葉風を戻すべきって意見か？

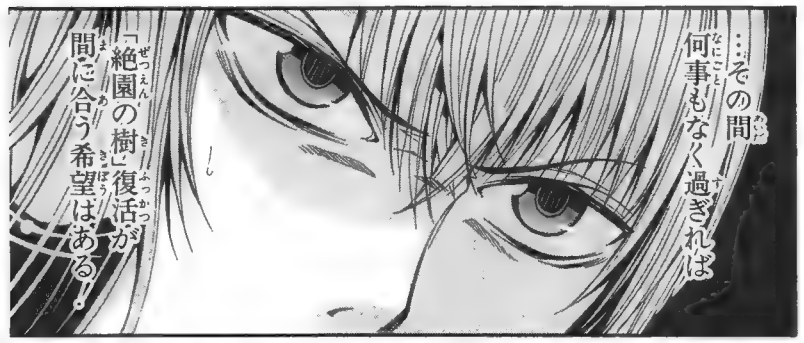
左門に手を貸しても
愛花を殺した犯人は
見つからねえ
それどころか左門の野郎が
愛花が殺された原因かも
しれねえくらいだ
だが葉風に手を
貸して「犯人」に
たどり着けるか？
「犯人」は
「はじまりの樹」かも
しれねえんだぞ？
もはや私に
打つ手はない
だが
あの少年が魔具を
持って動かんなら
まだ望みはある

姫様が戻る前に
「絶園の樹」復活が
間に合えば
勝てないことはないのだっ！

左門…
「供物」を
どこに隠したっ？

これぱかりは
自力で見つける！
「はじまりの樹」に
祈りはせんっ！

姫様
供物は簡単に見つからぬよう
それなりの工夫をして森の奥に埋めました
現在ある情報だけで見つけるのは困難なはず
二時間…いや一時間は最低かかるはずです


…その間
何事もなく過ぎれば
「絶園の樹」復活が
間に合う希望はある！

左門っ
私はこの命が惜しいとは思わん
だが私はそちらに戻らねばならん

戻らねば
何もできん！
何も償えん！
…それでも
「はじまりの樹」が
真広の妹の
死を招いたと
思いたくないが…
…そもそも
「はじまりの樹」
といえど
それほど精緻に
理を操れるものか？
あくまで
偶然が重なって
ザシ
そんな状況が
作られたと考える
べきではないか？

だいたいそこまで
「はじまりの樹」が
都合良く奇跡を
呼べるなら
とうに供物が
見つかっている
ではないか
フ…。
私が求め
見つかるのを
望んでいると
いうのに…
なに？

ドキン…
ズズウン…
そんな…
まさか
まさか…
そんなことが…!?

ニ
ュウウウウウ
ド
ン
こ…
これは…

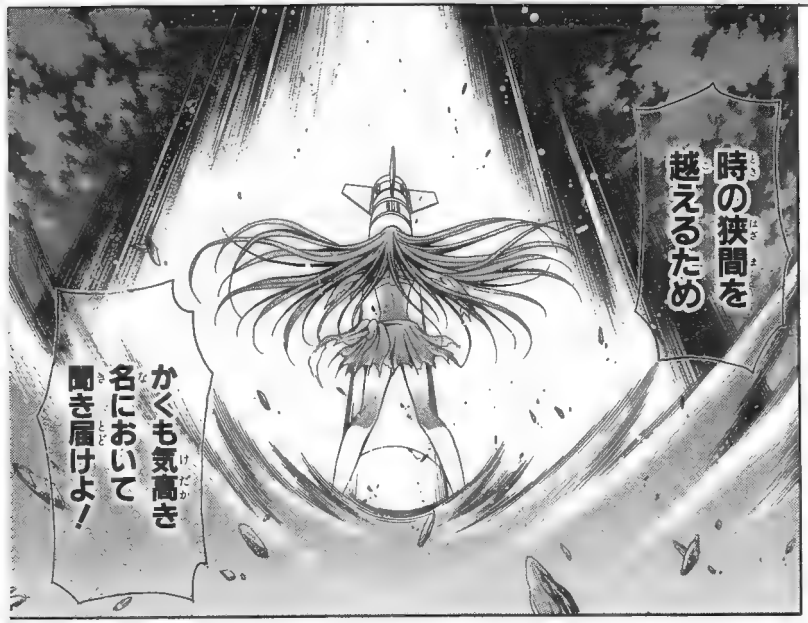
戦闘機の……
空対空ミサイル…？

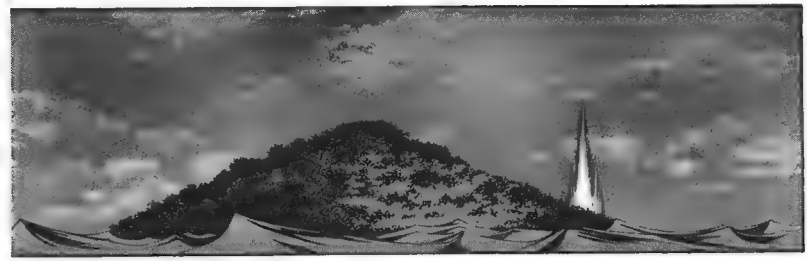
…どうして
こんなものが降ってくる！
戦闘機の整備不良？
輸送中の落下？不発か誘導ミスか？
こんな文明の産物が……強力な兵器が
なぜ都合良く私のもとに…！

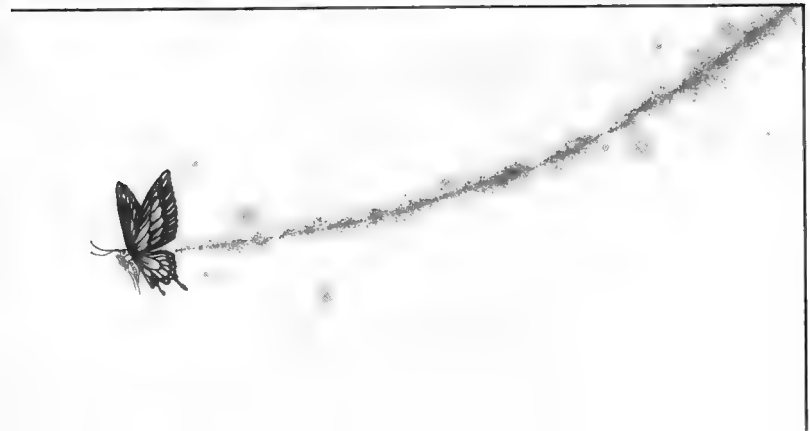
左門の隠した「供物」は容易に見つからない
ならば「はじまりの樹」はまったく別の「供物」を私に届けたというのか？
…時間を越えるには十分すぎる「供物」だ
「はじまりの樹」はここまで理を操れるのか？
こんなことまで可能なら
妹ひとり都合良く殺すなど簡単ではないか？
葉風さん
――どうしました？
…「供物」が手に入った
そちらに戻るぞ

えっ!?
吉野
そちらの人形を
私の骨に掛けろ
骨と人形 二つで
位置を確定する!
あっ
はい!
チャッ
わかり
ましたっ!
ふざけるな!
ここで折れて
なるものか!
ゴッ
真広の妹を
殺した犯人は
必ず見つけてやる!

この手で真実をつかんでやる！
ス…
私は私のために戦った者を裏切らん！
たとえそれが
ガッ
「はじまりの樹」が望まぬことであってもだ！
私は戻る！
ここより先へ！
樹の中の樹
大樹の中の大樹
始まりにありし
はじまりの樹！
我が名は
鎖部葉風！


時の狭間を
越えるため
かくも気高き
名において
聞き届けよ！





カロ…ロ…
ドロ…

ガッ
!?
ガラ
ガラ
ガラ

時間の檻が…
破れたっ！

ゴゴ
カッ
カタン
フォォォ オオ…
ああ…
こちらは冬だったな
さすがにこれでは寒いな

我が名は鎖部葉風
「はじまりの姫宮」

二年の時を越え
帰ってきたぞ

あれ
結界を破ろうとしてる？
軍の総攻撃を受けてびくともしなかったのに
あんなので破れたりするの？
あの結界は「はじまりの樹」の力を借りて作ったものですよ？
それを「はじまりの樹」が破れるかどうか訊きますか？

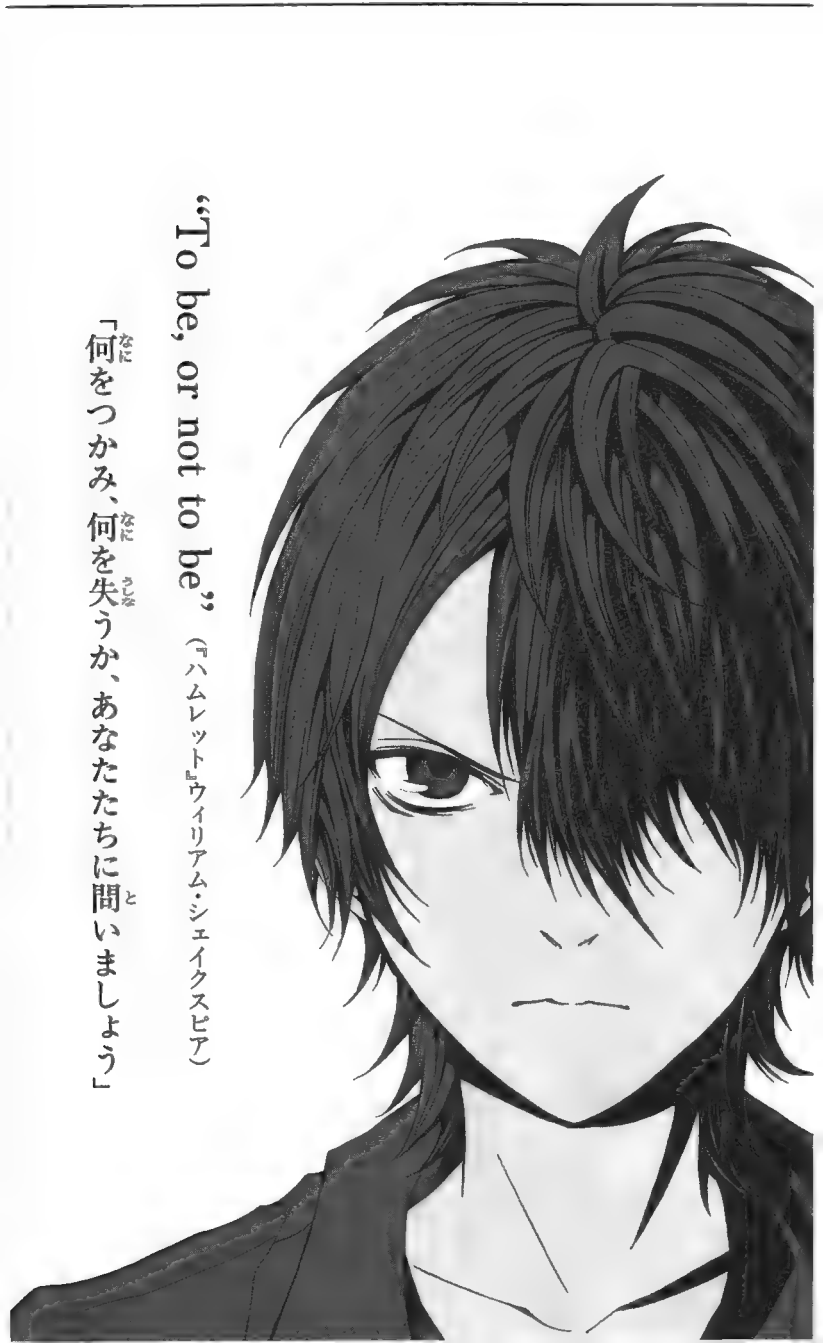
一瞬で
消し去れますよ

潤一郎殿…
結界は
「絶園の樹」の制御も
していたのですよ?

それを
いきなり
消失させるなど…
い…いったい
どうなるのです?
ユサ…
ユサ…

わからない
ただ
これからは
嵐(あらし)だ

THE CIVILIZATION BLASTER

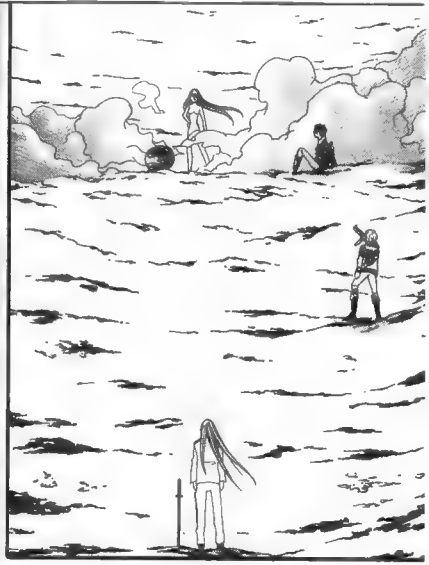

"To be, or not to be"
（『ハムレット』ウィリアム・シェイクスピア）
「何をつかみ、何を失うか、あなたたちに問いましょう」

第十六話:『しばし天の祝福より遠ざかり……』

THE CIVILIZATION BLASTER

我が名は鎖部葉風
「はじまりの姫宮」
二年の時を越え
帰ってきたぞ

バッ



バッ

葉風さん――!!
なんで裸なんですか!?

着ているものまで再構成する余裕があるか

あれが真広か
いかにもな顔つきだな
だが
吉野の
貴様はずいぶん幼い感じだな
ああも抜け目なく立ち回れる家兄には見えんぞ?

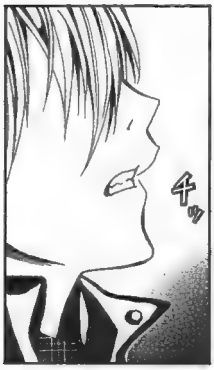
いやいや
悪党じゃありませんって
ししししし
本物の銃ではないか
貴様やはり悪党であろう？
だから違いますって

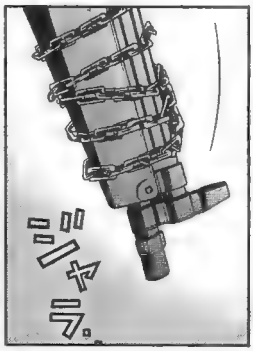
左門 説明は不要であろう
私に従え
だが貴様が間違っているかどうか
今の私にはわからん
これから何を選び何を成すべきか
互いに話し合わねばなるまい

これの処置も
ゴゴゴゴゴゴ
急ぐ気はない

真広
――！

かようなことになったが約束は守る
貴様の妹を殺した犯人は必ず見つけよう
「はじまりの樹」の企みが裏にあろうと
必ず貴様の前に犯人をひれ伏せさせる
今はそれで堪えてくれ


チッ


ジャラ。

…犯人
見つけられるのか？

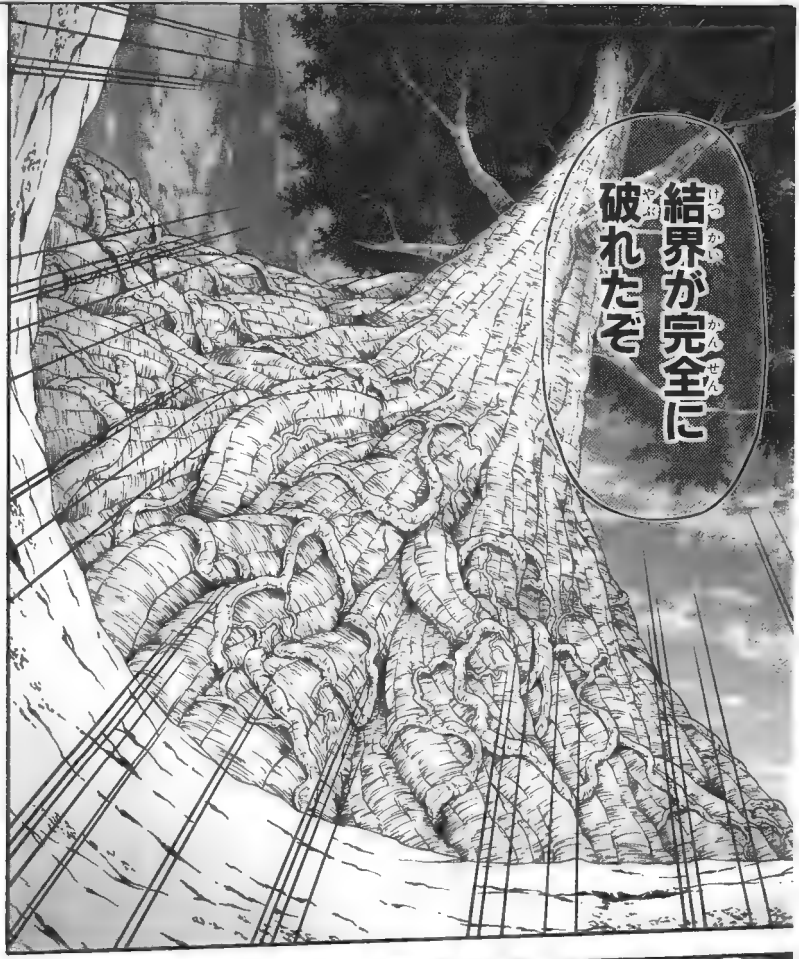
私は世の理の加護を受け時間さえ越えた者だぞ

この私が願うならば
たとえ犯人が「絶園の樹」であろうと見つけられんわけがない

見つけられんならそれは
「はじまりの樹」が犯人の時だけだ

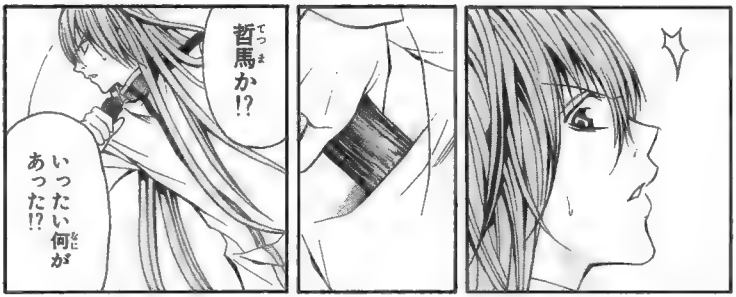
その時は私を殺せ
貴様の妹を殺したのは私も同然だ
フッ
わかったよ
なら吉野
お前も約束を…

!?
!
左門(さもん)!!


結界が完全に破れたぞ

い…いくら軍の攻撃が激しくとも
そんないきなり…！
いや
完全に結界が消失している――

あそこまで「絶園の樹」が成長した段階で消えては
制御がままならなくなろう!?
ブウウウウウウーン!!


哲馬か!?
いったい何があった!?

け…結界が壊されました!
「はじまりの樹」による強襲です!

そんな…「はじまりの樹」が覚醒したのか!?

「はじまりの樹」の
覚醒だと…!?
左門殿！
指示を！
「絶園の樹」は制御を外れ
「はじまりの樹」に応戦しようとしています！
ズズズ
ズズズ
このままでは何が起こるか…！

うわあっ!!

……
これは……
現実感(げんじつかん)ないわ
ギギギ
ギギギ…

ボロ
ギュウウ
ドオン

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
……
「絶園の樹」が制御を外れて
狂乱しようとしている…！
このままでは富士山麓を壊滅……いえ
列島を分断させかねない破壊が…

うん
かもしれないね
でも
「はじまりの樹」が
あれで終わった
わけじゃない
!!

カッ
な…
何よあれ！
ミシ
ミシ
ミシ
「絶園の樹」を喰ってる…!?

あのたくさん
あるのが
「はじまりの獣」？
あれも
一部？
あれが
神の一部だと
いうのなら
あの神が
顕現する世界は…
人にとって
住みやすいものじゃ
なさそうですね
夏村君
防御っ！
!?

潤一郎の
姫様が完全覚醒を
行っていないせいか
「絶園の樹」が
優勢では…
ここだけ
見ればね
でも
たぶん――

「はじまりの樹」は
世界中で覚醒を始めてると
思うんだけど

あの文明を喰ってる樹は国内だけの現象じゃないのか!?
世界的に地球規模で異変が起こっている……!?
世界の関節が…外れた…！

ボロ
我が名において
聞き届けよ
左門！
復活の儀式は
どこでやっている!?

それは…
儀式の場に
相当量の
供物があろう！
それを使って
私が「絶園の樹」を
抑える！
同時に
「はじまりの樹」の
覚醒を止める！
信じろ！
「はじまりの樹」を
このまま完全覚醒
させはせん！
この道なりに
真っ直ぐ
「絶園の樹」を目指し
最初の分かれ道を左、
右から三番目の
扉を開けて奥です！
一族の者はすでに
退避を始めさせて
います！

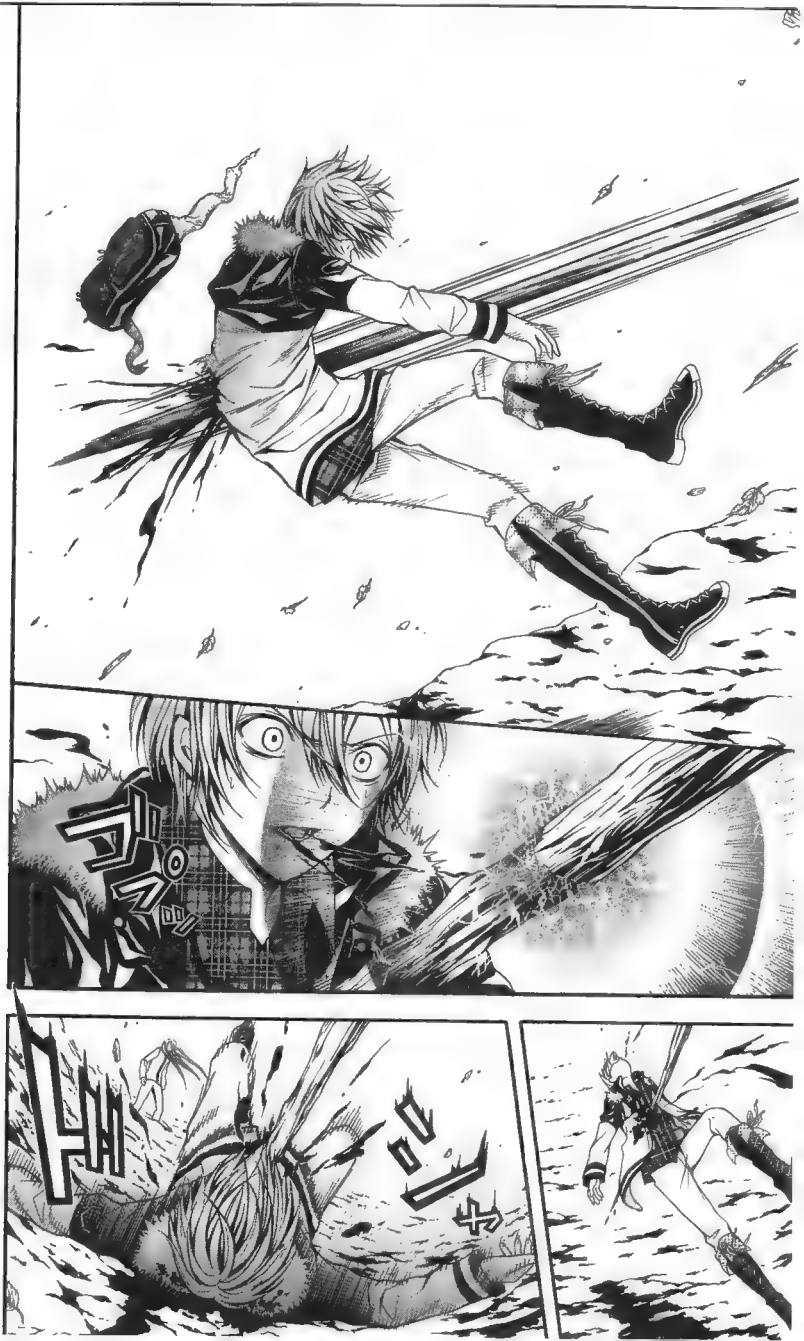
真広っ
その魔具を寄越せっ！
それを供物にし直しこの防御壁を強化する！
「絶園の樹」に直撃されても保つようにしておく
私が大樹を鎮めに行っている間 貴様達はここから動くな！
わかったよ
さっさと鎮めてきやがれ
ガシッ
ヒュ
吉野の
貴様には後で必ず礼を…

「絶園の樹」!?
違う!?
「はじまりの…

吉野(よしの)っっ！

ゴゴゴ
――！
吉野っ！
吉野おおっ！
致命傷か!?
致命傷なのかっ!?

大丈夫
だいじょうぶだ 治せるっ！
死なせんっ！
死ぬなっ！
何やってる 薬風っ！
さっさと 吉野を治せっ!!
少年っ
不用意に 動くなっ！
まだ安全 では――…


ゴッ
ドサッ
ドシャ

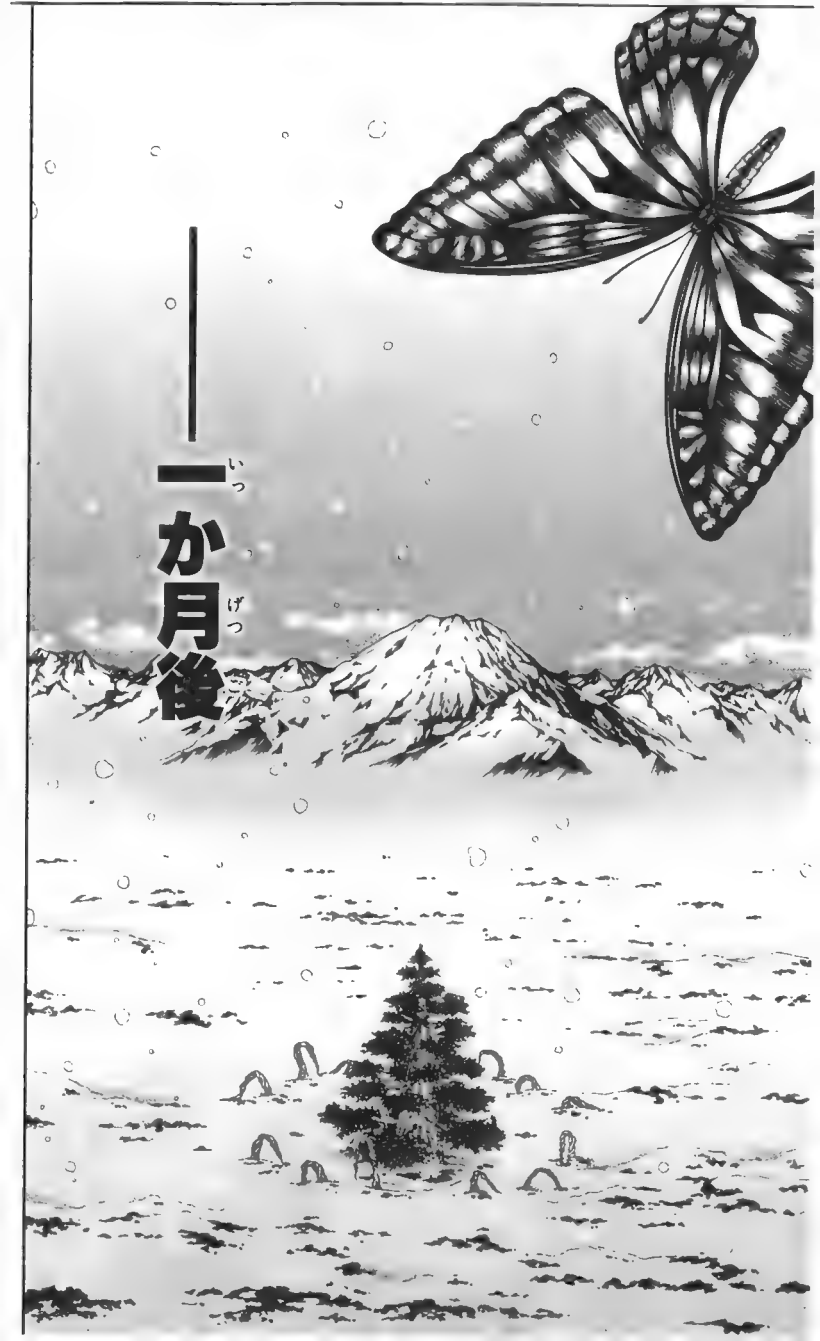
真広っ!!
な……
何ということだ!!
姫様が戻られた途端…!!
もはや二人は
用済みとばかり
排除された…!?
偶然か!?
「はじまりの樹」の
理なのか!?

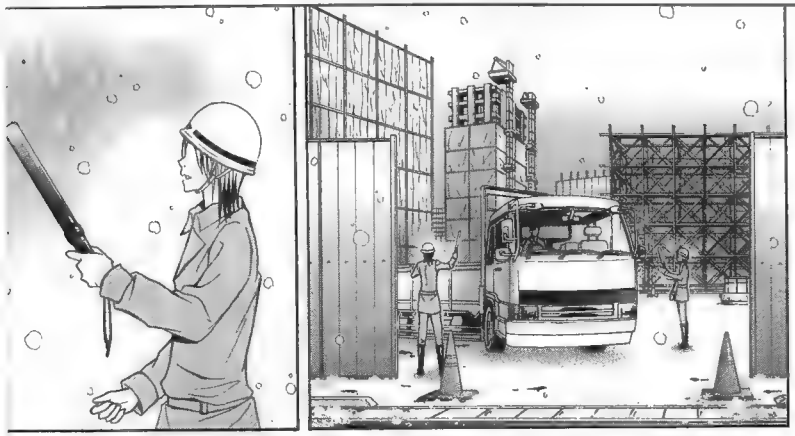
左門！
ぼやっとするな！
真広を助けろ!!
ホッ
いいか！
絶対に助けろ！
真広に何かあったら
絶対に許さん！
許さんからな！
吉野の傷は
深すぎる
そう早くは
治らんっ
だがこの嵐を
止めねば危険は
去らんっ！
吉野の体を
修復しながら
儀式の場に
向かうしか……

左門！
真広を頼む！
すぐに状況を
収束させるゆえ！
わからんっ
「はじまりの樹」は
いったい私に
何を望んで
いるのだ…？
ガラ
ガラー
ガラ

うん？
あの彼はどこ？
澗一郎殿はそういう方です
どうにも捉え所のない……
それより
我々もいったんここから離れるべきかと思いますが
構いませんか？
そうね
それにお互い
腹を割って話す必要もありそうよね？

……独断では答えかねます
ゴオオオオオ


一か月後



彼女に
振られた
将来性のない
頼りない人なんか
いらないって

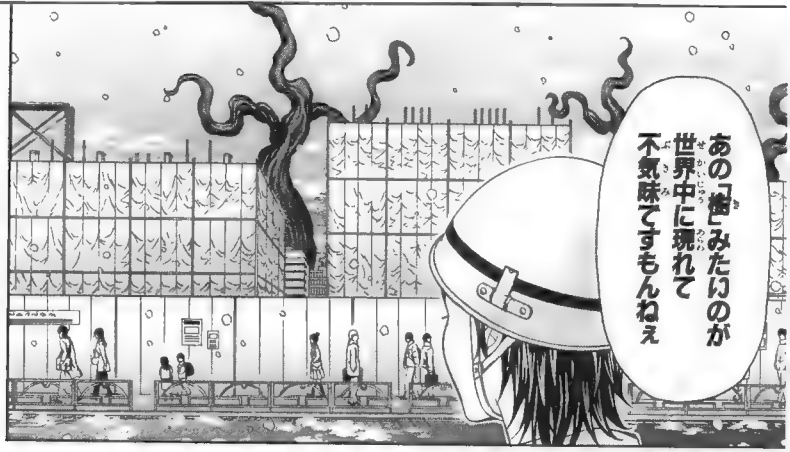
ふう…

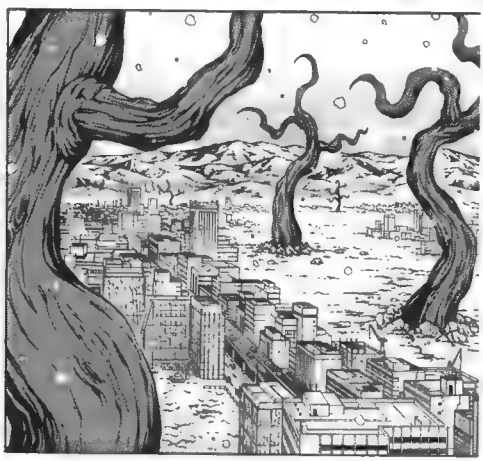
また元気
ないっすね——
羽村さん

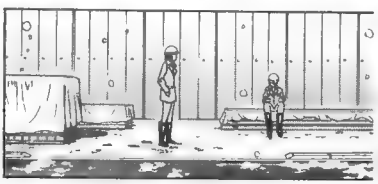
うわぁ…
まぁ この人
弱気なフリーター
だもんなぁ……

彼女が不安に
なるのは
わかるよ
今の世の中
変だから

……
落ち着いたと
いえ——


あの「檻」みたいのが
世界中に現れて
不気味ですもんねぇ





あ――
そうそう
だったら
羽村さん

「絶園の魔法使い」の
噂聞いたことあります？

俺も友達から
聞いたんですけどね
あの「樹」を壊して
世界を元通りにできる
魔法の力を持ったやつが
いるっていう
噂があるんですよ
嘘くさいですけどね――
ああ それ
たぶん
僕のことだ
ブゥウゥン

!!?
ハァ!
世界を救ったら
僕にも将来性
出てくるかなあ…

絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

はじまりは終わり、終わりははじまり。
それは夢と同じでしょうか、同じ夢でしょうか。

第十七話(だいじゅうななわ):あけましておめでとう

THE CIVILIZATION BLASTER

…色気がねえな

中学生の妹に
いったい何を求めているんです？
何なら
へそくらい出しますが…
出すな
ていうか家でもそんなに足見せんな
トウモロコシかじりながらうろうろもすんな
品がねえ
色気と品がある中学生もどうかと思いますが

マヒロも食べます？
甘いですよ
！確かに甘いな
果物かよ
イネ科の植物とあなどれませんよね

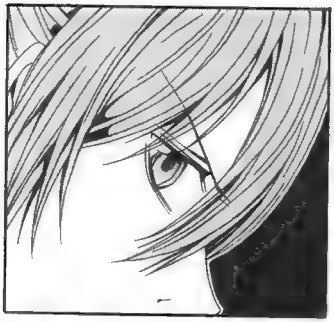
そんな甘いのどこにあった？
もらったんです
誰に？
マヒロと違って
私に色気も品も求めない人にですよ

くそっ！
今から思えば
あのトウモロコシを
やったのが愛花の
彼氏か!?
あの後ちゃんと
調べてれば――…
AM 11:00

悪い夢でも見たか？
……左門か生まれてこの方
夢なんか見たことねえよ
お前は本当に可愛げがないな
……

安心しろ
傷は完治させた
ついでに古傷や
骨折痕も治して
おいてやったぞ
…どれくらい
オレは寝てた？
約一か月だ
もっと早く
起こせもしたが
状況が状況だけに
魔法の効果で眠った
ままでいてもらった
悪く思うな
…どうやら
オレが寝てる間に
世界は
滅びたりして
ないようだな？
それは
ニノヤツ
お前の目で見て
判断してくれ

あれは
「はじまりの樹」か？
ああ その一部だ
姫様が激しい活動は停止させたが
世界中が似たような状態になっている
「絶園の樹」も富士山麓で活動を止めているが
今も健在だ

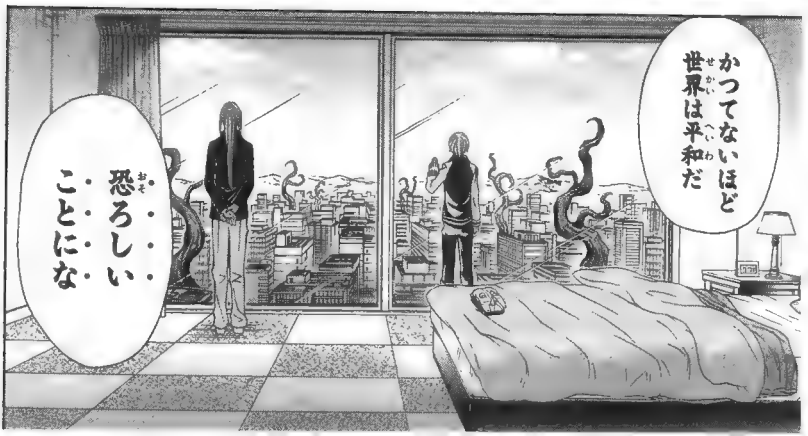


あんなものが
立ちまくってるのに
ずいぶんと
平和そうだな？

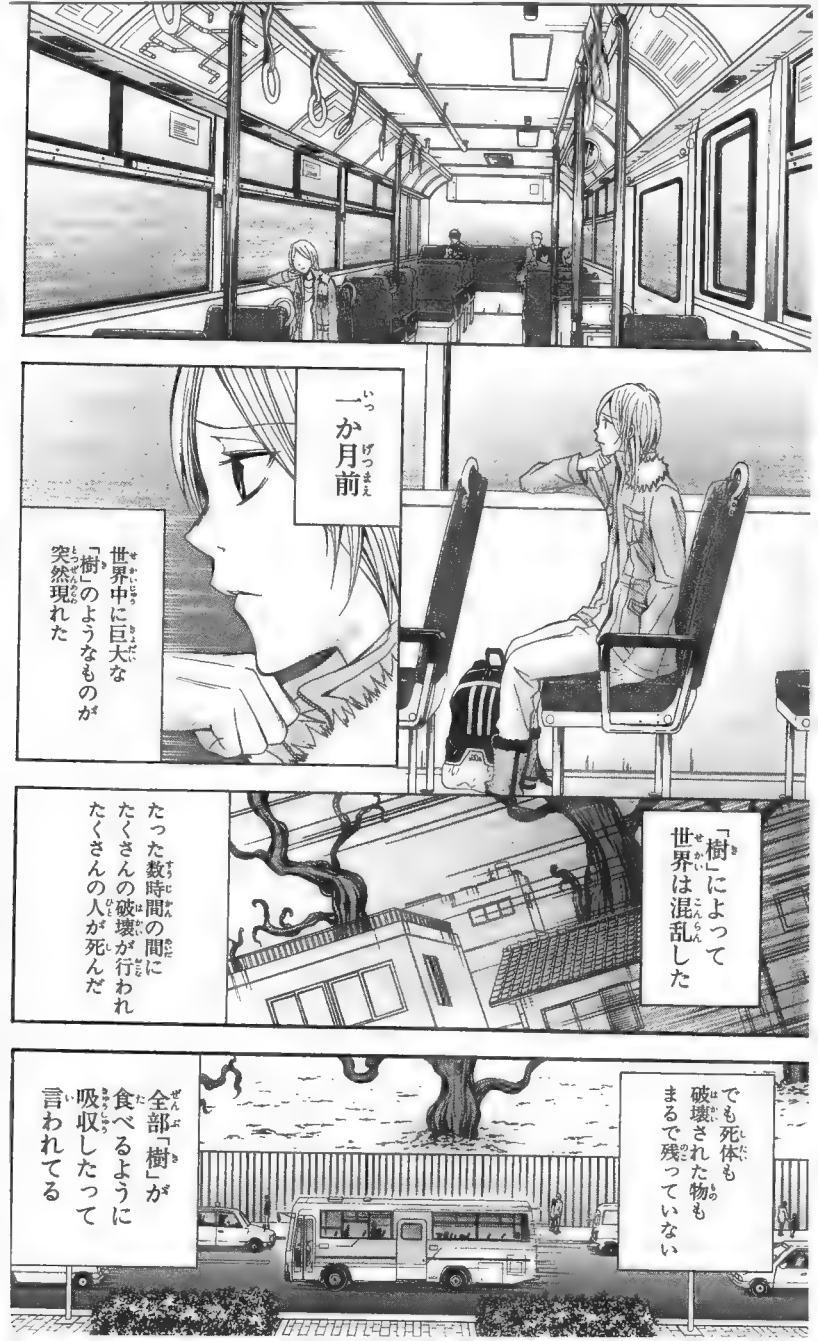
「はじまりの樹」の
出現による死者数は
十億とも二十億ともいわれる
被害額は
天文学的と言うのも
捻えめなほどだ

地球規模で
「はじまりの樹」は
破壊と殺戮を行った

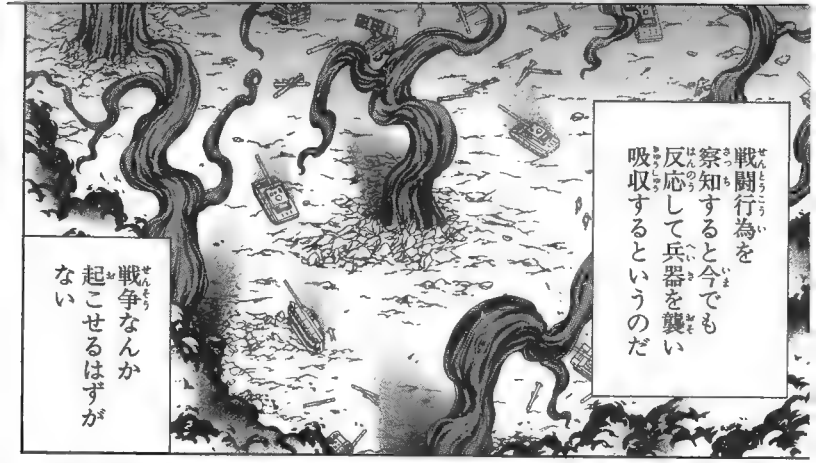
だが今


かつてないほど
世界は平和だ
恐ろしい
ことにな

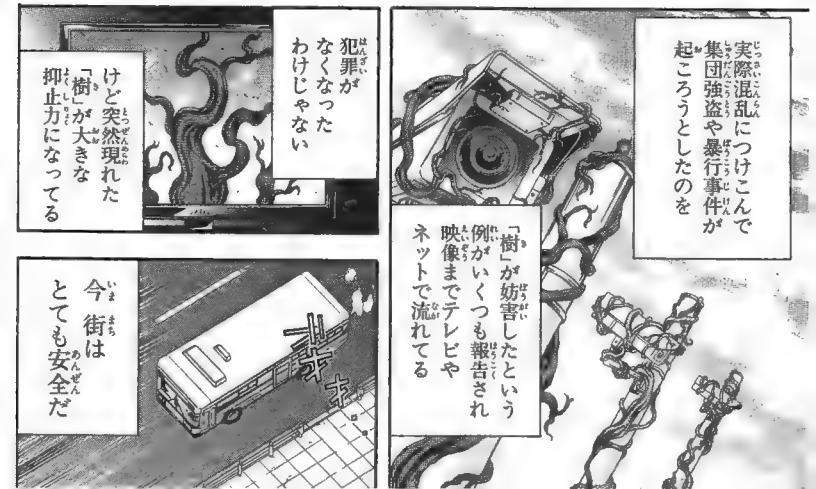
何があったか説明しよう
着替えながらでも聞くがいい
で
今日は何月何日だ？
あけましておめでとう
一月一日だ


一か月前
世界中に巨大な「樹」のようなものが突然現れた
「樹」によって世界は混乱した
たった数時間の間にたくさんの破壊が行われたくさんの人が死んだ
でも死体も破壊された物もまるで残っていない
全部「樹」が食べるように吸収したって言われてる

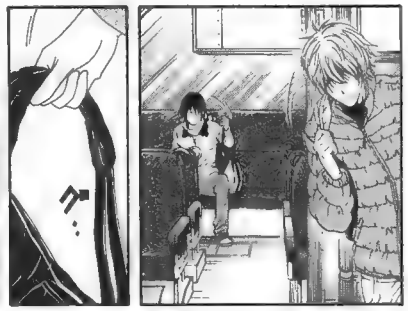
本当なら
パニックが
起きるとこだ
でもそんなことは
何ひとつ
起こってない
ハロー
止まります
いや……
起こせなかった
トロロ
ハア
「樹」は軍事施設
兵器類を優先的に
襲い吸収した
それどころか


戦闘行為を
察知すると今でも
反応して兵器を襲い
吸収するというのだ
戦争なんか
起こせるはずが
ない

暴動も同じように
「樹」に鎮圧されてしまう
今ではどこでも戦争や
紛争は止まってる
そして小さな
街レベルでも抜群に
治安が良くなった
「樹」は犯罪行為も
監視してるらしい

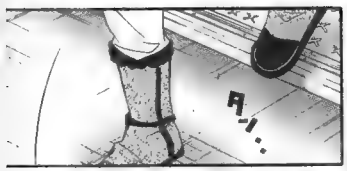

実際混乱につけこんで
集団強盗や暴行事件が
起ころうとしたのを
「樹」が妨害したという
例がいくつも報告され
映像までテレビや
ネットで流れてる
犯罪が
なくなった
わけじゃない
けど突然現れた
「樹」が大きな
抑止力になってる
今 街は
とても安全だ

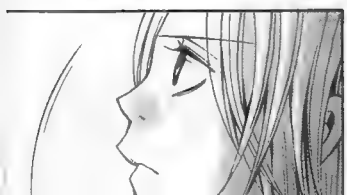
また
「樹」は
地球規模で
自然環境に
干渉してるらしい


グ…

砂漠化していた
地域が緑化し始め
海洋汚染が改善し
やせていた大地は
活力を取り戻し

水不足・食料問題まで
解決されようと
してるそうだ


タン…



今世界は
かつてないほど豊かで
平和だっていう
ブロロオ

「樹」はたった数時間で
世界中の文明を
破壊し人を喰らい
世界を
造り替えた
世界は
平和になった
でもみんな
わかってる
僕らは
「樹」に支配されて
しまったと

はぁぁ…
こんなおかしな時代じゃ
彼女も頼りがいある男を恋人にしたいよなあ…
羽村さん
やっぱり富士山へ行くんすね！
…僕は
「絶園の魔法使い」らしいんだ
ブウウン
だから

富士山にある
あの「絶園の樹」を
復活させ…
この不気味な
「樹」達を倒し
世界を元に戻さないと
いけない
平和だけど
みんなどっか怖がって
ますもんね…
またあの「樹」が
暴れ出したら今度は
どんな風に世界が造り
替えられるか……
それに
この「樹」が
なくなったら
彼女が戻って
きてくれるかも
しれないし…！
まだ未練
あるんすか…

じゃあ
行ってくるよ！
あの人大丈夫かなぁ…
待ってたのよ～
チョイ
チョイ

さ 座って 座って!
一か月ぶりに起きてすぐお節料理はありなのか?
お雑煮もあるわよ
ヨト
おもちもたくさん!
魔法に感謝しろ 胃腸はほとんど弱っておらん
気にせず食べろ
初めましてだな
不破真広君
私は 早河 巧
元黒鉄病対策 本部長補佐

ここは私の自宅で
彼女は
エヴァンジェリン山本
人呼んで
フロイライン山本
私の友人だ
そのよしみで公には
やりづらい仕事を
してもらっていた
暇だったし
ボランティア
ということで
銃器の使用許可も
もらえたし
あんたが軍を
動かしたりした
黒幕か？
彼の祖父が
鎖部一族の長
麻耶様の友人だった
そして魔法が
社会的な問題を
起こした際――
秘密裏に素早く動ける
国家的な組織を
我々にも秘して
作っておられたのだ
……

組織といっても
大したものではない
祖父も麻耶という方も
とうに亡くなり
鏑部一族とのつながりも
消えていた

残された者は
魔法について
半信半疑で
黒鉄病発生後も
情報収集は
後手後手に回っている
コト…

一族とこうして
再び手が組める
ようになったのも
大きな被害が出た
今になってからだ
コポコポ

結果的に
我々は
失敗した

ポン
確かに
今も
吉野君に
頼ってるとこある
くらいだしね～

……
吉野は
無事なんだな？
我らと別行動
ではあるが心配ない
お前より健康で
お前より頭が
回っている
今
吉野君には
薬風さんがあちこち
見て回るのに同行
してもらってる
…薬風があちこち
見て回る？
何のために？

不破家之墓
「はじまりの樹」が
どう世界を変えたか
その目で見るためだ

愛花ちゃん
きみを殺した
犯人を捜す旅
だったのに——

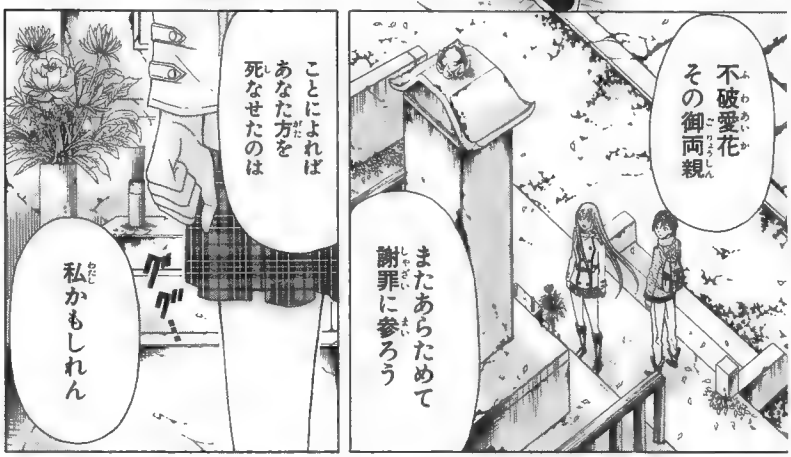
今じゃとんでもなく
大げさなことに
なってるよ

世の中もずいぶん変わってしまって…
吉野
不破愛花とはどういう娘だったのだ？

ええと…ほら
あの真広の妹ですから…
たちが悪そうな娘だな
不破家之墓
悪かったですねえ…

ひどい言い種だな
愛花嬢の彼氏に訊けば真逆の答えが返ってきそうだ
吉野
真広が起きたら
私もその「彼氏」に会わせてくれ

あの真広の妹と
隠れて付き合うとは
何とも命知らずな奴だ
顔が見て
みたい
僕がその
命知らずの「彼氏」
なんですけどね


不破愛花
その御両親
またあらためて
謝罪に参ろう
ことによれば
あなた方を
死なせたのは
グッ
私かもしれん

…いや

私はいったい……
どれだけの命を犠牲にしてしまったのだ？

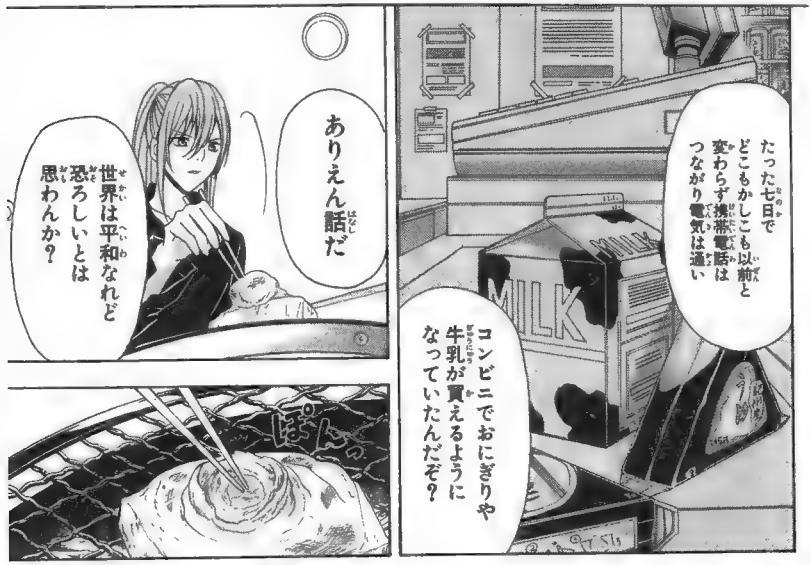
「はじまりの樹」は
文明を喰らい
大きな破壊を
もたらした
同時に世界中の
システムを再構築し
平和にし地球環境まで
改善した
その破壊と恵みが
正しいかどうか
あの
お姫様
今後「はじまりの樹」の
完全覚醒を成すべきか
どうかかなり迷ってる
みたいよ？
ある意味
彼女が一番
「はじまりの樹」の力を
恐れてるかもしれない
……
……姫様は
お前達二人が
富士山麓で
倒れた後――

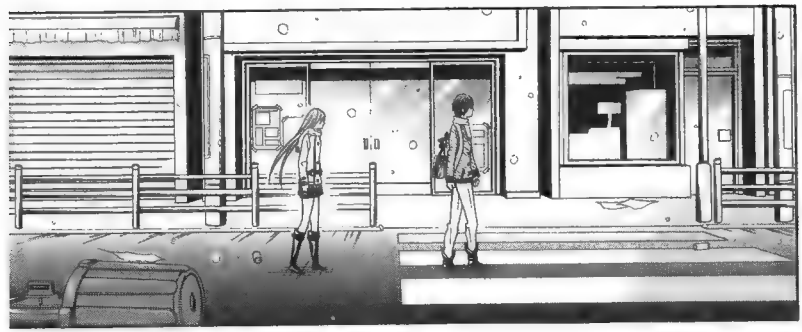
我らが復活の儀式に
用意していた供物を使って
「終園の樹」を抑え
「はじまりの樹」の活動も
お止めになられた
吉野という少年の
命も大過なく
お救いになられた

祖父の死因は
高血圧による
脳卒中だ
以来うちでは
減塩を心掛けている
薄いな

そうか
生活習慣病には
魔法も効かんからな
…
「樹」の活動が
収まった後
葉風さんにも
現実が見えだした

特に「はじまりの樹」が新たに多くの人間を金属化し
吸収していたのがショックだったみたい
ニュ
黒鉄病被害者も含め約二十億を
……
金属化して
吸収？
「はじまりの樹」には生物を金属化し
自らのエネルギーにする能力があった
黒鉄病の時から予兆はあったが死体を残らず金属化してさらっていくとは想定外だ
だから樹による被害者の死体は残っていない文字通り喰らって喰っていったんだ
だが一週間もすれば世界は落ちついた
コト…
死体も破壊の跡も消え去り何ら社会に問題がなくなった
いいか


たった七日で
どこもかしこも以前と
変わらず携帯電話は
つながり電気は通い
コンビニでおにぎりや
牛乳が買えるように
なっていたんだぞ？
ありえん話だ
世界は平和なれど
恐ろしいとは
思わんか？
ぽんっ



葉風さんの
せいじゃ
ありませんよ
こんなことに
なるなんて
誰も予想できや
しません
立入禁止

私は「はじまりの樹」の力を見誤っていた

ただ一部が目覚めただけでこんなことになろうとは

完全覚醒すれば左門の言うように

取り返しのつかんことに…

中途半端に目覚めたせいで変に犠牲が出たのかもしれませんよ

完全覚醒なら何もないかもしれません

ああ…

だが私は

見れば見るほど何が正しいかわからなくなる

ギュッ

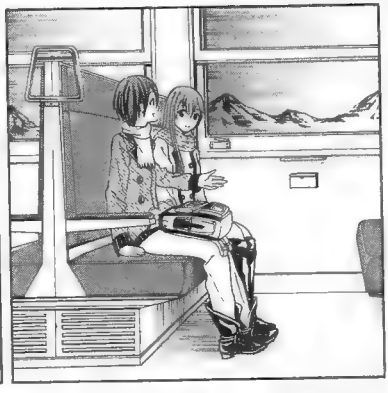
お前の故郷も
友人達も…
他にも
きっと…
こうして奪って
しまった…

ここを離れましょう
お正月なんですから
おいしいものでも食べましょうよ
だが左門
世界は平和になった葉風は完全覚醒に踏み切れねえ
そいつはお前が最初望んだ状態じゃねえか？

お前にすればあとは「はじまりの樹」も「絶園の樹」も刺激せず
できるかぎり現状維持できりゃ一番だろ？
そうだな
恐ろしかれど平和に勝るものはない
下手な変化はいっそうの犠牲を生みかねん
我らは現状維持を心掛けっつ
この先どう動くべきか慎重に考えている
だったら何で
オレを起こした？
余計なことは知ってる
自分のことしか考えてねえ

オレみたいなのは
お前らに合わせて慎重に
動かねえぞ
ずっと魔法で
眠らせといた方が
安全だろ？
「絶園の魔法使い」
の件がある
「絶園の
魔法使い」——

まだその存在は
確認されていないが
もし実在するとすれば
あの姫君を
殺そうとするか
「絶園の樹」を復活
させようとするか



そうなれば
新たな混乱
最悪の事態が
起こるかもしれん
実在するなら
いち早く探し出し
こちらの管理下に
置かねばならん

そいつにはキミの妹を殺した疑いもかかってる
キミも用がある相手でしょ？
それでもそいつを捕まえんのにオレが役に立つか？
かえって邪魔だろ？
ああ
これは取引材料にすぎん
お前の望みを叶える用意が我らにある
ゆえにいまひとつの問題にお前に役立ってもらいたい
…オレに
何をさせたい？

不破真広
お前は滝川吉野を殺せるか？

すまん
少し待っていてくれ
手洗所
TOILET
トイレ
フロイラインさんに連絡しとこうか？
パコッ
でも
葉風さんが嫌がりそうだしな…
うーん
えーとごめん
富士山の方に行くんだけど……

乗り換え
ここでいいかな?
くっ……また
吉野の前で情けない所を
見せてしまった
なって
おらんぞ!
そもそも
吉野が私に従う
義理もすでにない
バシャ
いまだ巻き込んで
いるのも反省せねば
ならんっ
バラ
なのに親元にも
帰さず
余計な負担
ばかりかけて…
……

いや 吉野も 吉野だっ！
あやつは人が好すぎる 断るべき所は断れっ！
そんなだから 私や真広などに 振り回されて
ひどい目にも 遭うのだ！
聞けばあやつ 彼女もいるという ではないか！
私に付き従ってる 場合ではなかろう
振られても しらんぞっ！
うらなり めっ！
…しかし 吉野ほどの男の 彼女だ
良くできた娘 なのだろうな…

ガン
ふんっ
私の知ったことかっ
吉野を殺せるかだと？
おいオレが寝てる間に何があった？
やっぱりこの子
ごまかすのがまずいタイプね……

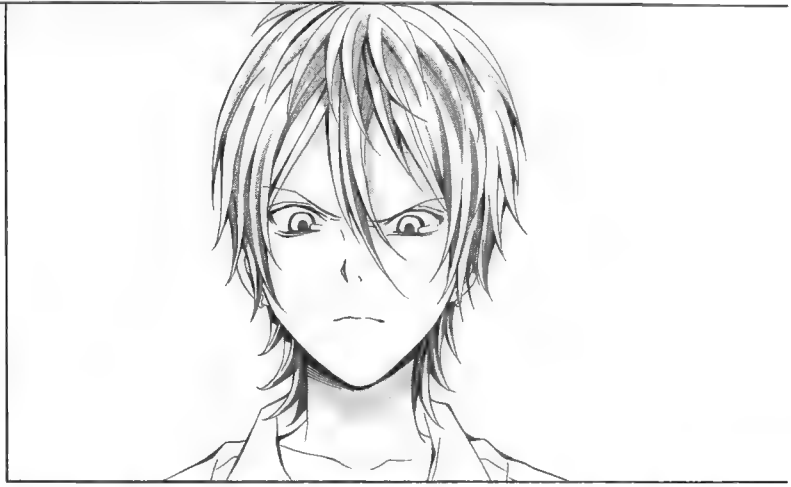
惚れてしまっただけだ

…葉風が吉野に……
惚れた…
…だと？
ああ
だがそれが世界の命運に関わるのだ
……
……おい吉野
お前また何やらかしたんだ？

絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

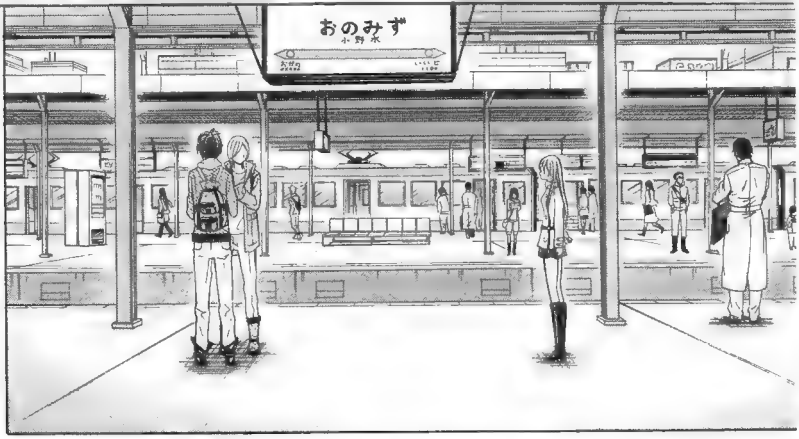
第十八話：どうなると思う？



わけ
わかんねえな
何で疾風が
吉野に惚れて
何で世界の命運が
関わって
何で吉野を
殺すはめに
なるんだよ？

そう難しい話でも
悪い話でもない

天気もいい
初詣に行こうか


おのみず
小野水

な、なんか
きつい感じだけど
きれいな子だな……

ドン
ドン
ドン

誰だ
あの男は？

だ…誰って
知らないのに蹴ったんですか？

ああ

何やら胸さわぎがしてな
お前に危害が加えられそうにも思えたのだ

まずかったか？
し
ガーン
…まあ
仕方ありませんか……
仕方ないんだ!?

おのみず
で
あれは誰なんだ？

誰というか…

乗り換えを訊かれてただけですよ

富士山に行くそうですけど

富士？貴様はバカか

あの山麓一帯立ち入り禁止なのを知らんのか？

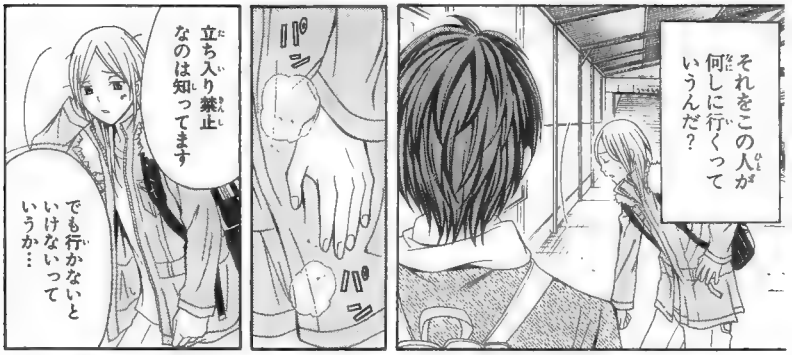
そうなんだよな…

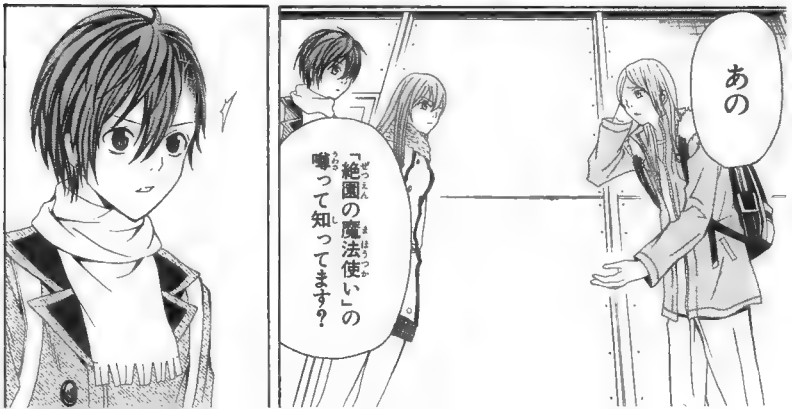
あそこには「絶園の樹」がある

だから各国が異変の原因のひとつと見て調査団を送り込んでるんだ

十キロ手前からでも許可なく近付けないようされてるしそう報道もされてるんだけど

第一、その調査団も
「絶園の樹」には
接触できてない
葉風さんが
力を抑えたといえ
あの破壊の樹自体が
エネルギーを発して
人も物も寄せ付けなくしてる


それをこの人が
何しに行くって
いうんだ?
パン
パン
立ち入り禁止
なのは知ってます
でも行かないと
いけないって
いうか…


あの
「絶園の魔法使い」の
噂って知ってます?

…知っている
それどころかあの噂を世に流したやつも知っているぞ
ええっ!?
じゃあ話は早いのかな?
とにかく
僕がその
「絶園の魔法使い」みたいなんですよ

姫様はあれで
箱入り娘なのだ

菜昌

あんなタフできつい箱入り娘があるかよ

だが姫様は「はじまりの樹」に守りに守られた姫宮だ
逆境らしき状況になっても必ずこの世の理が味方し難なく生きてこられた
フェア。

よってこれまで
挫折をお知りに
ならなかった
孤島に流されても
慌てられず
その状況を
楽しむ余裕さえ
持たれていたろう？
…まあ
異常なくらい
ポジティブでは
あったな

だがこのたび
姫様は
初めて絶対的な
敗北と絶望を感じる
状況に陥られた
お前がその状況に
落とし込んだんだけどな
そうだ
そして——

そこを救ったのが
滝川吉野だ
あの少年は——

姫様さえ
絶望した状況に
果敢に立ち向かい
見事道を
切り開いてみせた
そんな英雄的活躍を
見せられれば
惚れても
おかしく
なかろう？
……

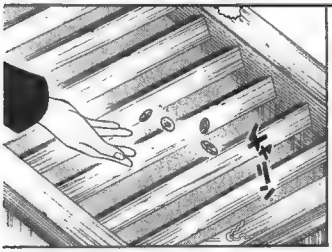
着いたぞ
しっかし
あの葉風が
そんな安く男に
惚れるもんか？

だから姫様は箱入り娘といった
これまで無敵であられた姫様にとって
滝川吉野は初めての「頼れる男」だ
また「はじまりの樹」さえ信頼できぬ姫様にとっては いっそう心を寄せる相手が欲しかろう
惚れん方がおかしい
世界の変容を見て回られる際も
同行には滝川吉野だけをお許しになられた
我らとしては見張りの意味もあって一族の者をつけたかったが
さすがに信用されん
吉野君はこっちの意図もわかって
葉風さんを気遣いつつ現況を報せてくれるけどね
――ただ

始末の悪いことに
姫様ご自身は
滝川吉野に対して
抱いている感情を
恋心と気づいておられん
わけのわからぬ
感情を持て余し
右往左往して
おられる
あいつは
小学生か
教えてやれよ
そんな気恥ずかしい
真似ができるかっ
…まあ
言ってわかるもんでもねえか…
それに吉野には
彼女がいるし
変に葉風にさかりがついても
困るか…
けど
葉風も見る目がなさすぎるだろ
吉野は人畜無害
そうな顔して
オレより悪いぞ?
そう?
真面目でいい子よ
吉野君は

フゥ…
いい子がオレに隠れてあんたと裏取引したり
武器を要求したりするもんか？
…気づいてたの？
いいや鎌掛けただけだ
あんたらの話聞いてりゃ想像つく
あいつが間に入ってたからタイミング良く事も動かせて
あんたらもスムーズに手を組めたんだろ
ザッ

第一吉野が
オレに隠れて
こそこそ動くのは
いつもの
ことだよ
にしてはお前は
怒らないな？
友人がある意味
自分を裏切って
いたのに？
言ったろ
いつものこと
だって
あいつはオレに従う
ふりして大抵真逆の
こと企んでやがんだ
何度あいつに
邪魔されたか
それでよく
友達付き合いが
続いたものね？
気に入らねえが
それで悪い
結果になった
試しがねえんだよ
だがな
あいつは本質的に
おかしいぞ？


チャリーン

パン
パン

だいたい吉野
葉風に憧れられたのに気づいてねえだろ？

ないわね
そんな余裕もないんだろうけど……

いいや
単にあいつの頭のネジがゆるいだけだ

気づいていなくて
こちらは幸いなのだがな

で
それと吉野を殺すって話がどうつながるんだ？
ゴッ
ザッ
姫様は
揺れておられる

己の力を恐れ
この先どうすべきか
迷っておられる

そこに「頼れる男」
がいるのだ

どうなると
思う？

吉野の
意見で

この先どうするか
決めるとでも？

大きく左右
されような

滝川吉野が「はじまりの樹」を
「覚醒させるべき」と言えば
そうされるだろうし

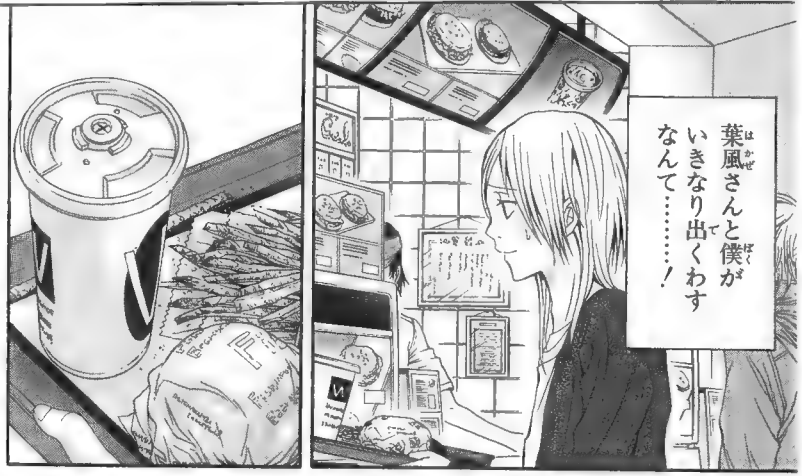
「べきでない」と
言えばそうされよう

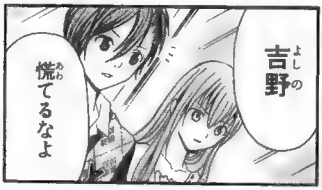
今の姫様は己や「はじまりの樹」よりあの少年を信頼しておられる
滝川吉野を中心に物事を考えられているのだ
惚れるとは…心を奪われるとは
そういうことだろう？
「はじまりの樹」を覚醒させるかどうか
今は滝川吉野が決められると言っていい
――つまり
世界の命運は
吉野が握っちまったってことか！

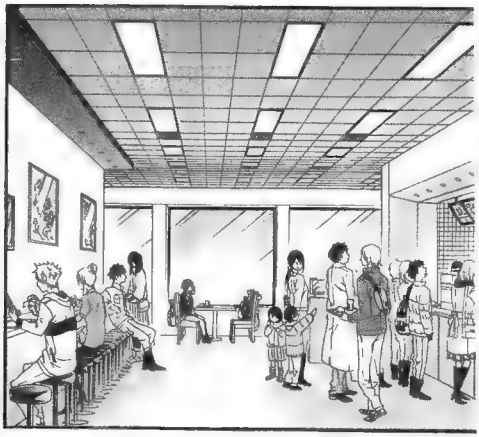
ネットや携帯サイトで広がっている「絶園の魔法使い」の噂…
「世界を支配した『樹』を倒しこの世界を救う『絶園の樹』の魔法使いがいる」っていう物語

これを流したのは早河さんや左門さんだ
この噂で「絶園の魔法使い」の情報が浮かび上がり――
あるいは当人が名乗り出たりするかもしれないって期待してたんだけど……
かっこよさそうだな 19:13:24
噂も薬もない噂だろ 19:24:05
でも富士山に巨大な樹が出現したのは確定 19:30:55
真実も入ったんだろ →19:34:5…

まさか――
ピピピ


葉風さんと僕がいきなり出くわすなんて……！


吉野
慌てるなよ



あれが本当に「絶園の魔法使い」とも——
真広の妹を殺した犯人とも決まったわけではない

でも
「魔法使い」であるのは確かなんじゃ？

…話を聞くしかあるまい
当人がどこまで状況を理解しているか

あるいはとぼけたふりをして
私を誰とわかっているのかもしれんが

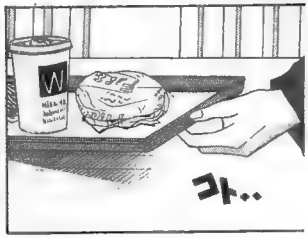
何があっても必ずお前の身は守る
しばらくあやっと話をさせてくれ

姉弟かな？
ひょっとして恋人同士!?

なんだか成り行きで引っ張ってこられたけど
あの二人何者なんだろう？

あんなきれいな子と付き合えるなんてうらやましいなぁ…
それに引き換え僕は……

あ
お待たせしました


コト…

あらためて
名乗ろう
私は鎖部葉風
そして
この者が――
滝川吉野
です
ゆえあって
昨年から行動を
ともにしているが
貴様ごときが
想像する下世話な
関係ではない
そこは
誤解するな
偉そうな
言葉遣いだけど
すごく自然
だよな
どこかのお姫様とか
そんな感じ？
で、こちらが
お付きの者？
うーん
羽村めぐむ
です
ええと
フリーター
なんですけど
彼女に振られ
たりして…
いつ
先ほど見せた
「力」に気づいた？

い…
一年くらい前です
急に体から変な力が出せるようになって
何となく使い方というかコントロールの仕方もわかるようになって…
それが富士山のそばにあの「絶園の樹」とかいうのが現れた頃から
力が強くはっきり使えるようになったんです
……
ていっても別に何に使ったってこともないんですけど…
一年くらい前…左門が「絶園の樹」復活を本格化させた頃か？
力に目覚める時期としては外していないが…
そこに「絶園の魔法使い」の噂を知って…

ああ このための力だったんだって思ったんですけど…
違うんですか？
私が「違う」と言えば信じるのか？
ええと
困ります
困るな
貴様の力は――
この店まるごと全て
半瞬で消し去れるほどのものだぞ？
ええっ！
そ…そんなひどいことしませんよ！
ああ
されても私が困る

こやつ
本当に自覚がないのか？
自分が世の理さえ砕く力を持っているのを？
幸い滝川吉野は
姫様の恋心に気付かず――

世界の命運を握った自覚もないだろうが
自覚すればどうなるか
どうにもならねえよ
あいつは世界をどうしようとか考えるやつじゃねえ
そう言い切れるか？
お前はお前で危ういが理屈に合わんことはせん
取引のしようもある
だがあの少年はどうだ？
あの子は
何かしら信じることがあれば理屈も交渉の余地もなく
あらゆるものを犠牲にして突っ走りそうな怖さがある

……
何をやらかすか
あの少年は読めん
何かあればあの少年は
迷わず姫様の背中を
押すだろう
この変容した
世界で
その事態が
起こらんとは
言い切れん
…だから
そうなる
前に
吉野を殺して
排除しよう
ってか？

そうならないよう協力を頼んでいる
こちらも子供を殺したくはない
滝川吉野が死ねば姫様がどう反応するか
それも問題になる
葉風には「はじまりの樹」の理によって殺されたって思わせるんだろ
そうすりゃあいつはますます「はじまりの樹」への不信を大きくする
殺したって問題ねえな
とはいえ恋する娘の行動は常軌を逸する
あの少年は殺さずにおきたい
むしろうまく利用して姫様を制御するのに使いたいと考えている

長い付き合いのお前だ
あの少年を適切に扱う方法は一番わかると思うが？
…吉野の親は？

「はじまりの樹」出現後所在が確認されていない
亡くなった可能性が高い
それを吉野は？
知っている
ただし姫様には隠しておくことで同意しているが

あいつはまた…

じゃあ吉野の彼女は？
そっちは無事なんだろうな？
そちらは大丈夫らしい
関わらせたくないのか名前ひとつ教えてくれんがな
好きな女が生きてんなら吉野も無茶はしねえだろ
なんだ心配ねえじゃねえか
どっちかっていうと
こいつらを暴走しないように見張るべきじゃねえか？
……

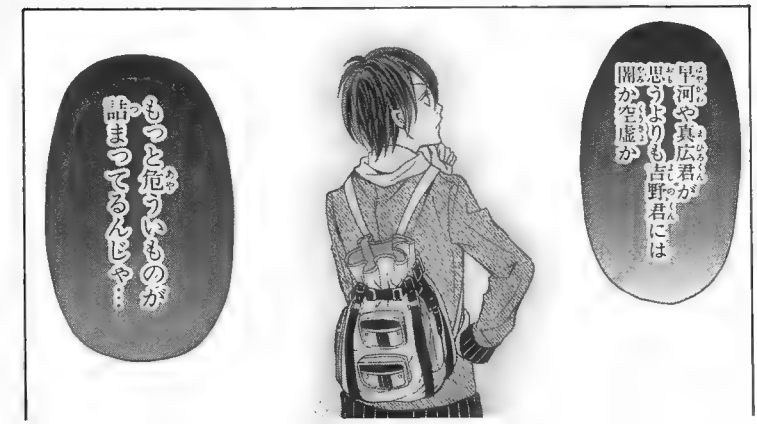
僕の彼女が愛花ちゃんだってこと
誰にも話さないでください

この状況で二人に知られると
いかにも面倒そうでしょう？
知ってる人が増えると
真広や葉風さんの耳にうっかり入る可能性も高くなります

確かに二人に知られると面倒だし
吉野君の機嫌を損ねるのもまずいから
「彼女」の正体は早河にも話してない

ただ
そんな吉野君の心の内は実際どうなっているのか

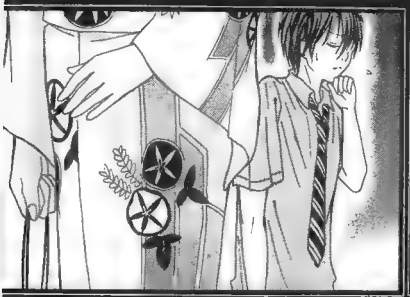
たぶん誰も知らないままがいいはず


早河や真広君が思うよりも吉野君には闇か空虚か
もっと危ういものが詰まってるんじゃ…

浴衣だ
はい
浴衣です
今日は
花火大会です
からね
…あのさ

浴衣の時はラインが出ないように下着をつけないって聞いたことあるけど
本当？
上はつけていません
下は――秘密です
しかし
どうしても知りたいという熱烈な欲望があるのなら
吉野さんがじかに手を差し入れて確かめるのを許可しますが
カラン…
スス…

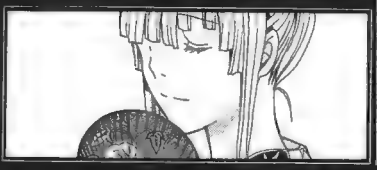
…ええと
ごめんなさい
くだらないこと
訊きました



まあ
意気地のない
ことですね

いやいや
血はつながって
ないし
初めて会った時から
そんなじゃないか

…やっぱり
愛花ちゃん
性格悪いよね
それはあのマヒロの
妹ですから



そういう吉野さんこそ
自分を善良な人間とでも言い張る気ですか？
そりゃ真広に隠れて愛花ちゃんと付き合っていて
善良とは言えないだろうけど……
ヒュルルル
ドーン
フ…
私が知る中で
吉野さんが一番怖い人だと思いますよ？

この人が愛花ちゃんを殺したのか？
僕らを油断させようと芝居でもしてるのか？
うわ……な、なんかまずいこと言ったかな？
ふ…雰囲気が痛いよ？
…とりあえずアリバイを確かめるくらいは……

羽村と言ったな
貴様魔法使いは自分ひとりだけと思うか?
ニヤ
え?
「絶園の樹」側の魔法使いがいるなら
「世界を支配した樹」側の魔法使いもいると思わんか?
…私達に触れられるものなら
触れてみろ
ス…
……?

カッ
ロン
えっ
ばっ…
バリア!?
うそっ
閉じ込められ
てるっ!?
ガタンッ
私は
貴様と敵対する
魔法使いだ

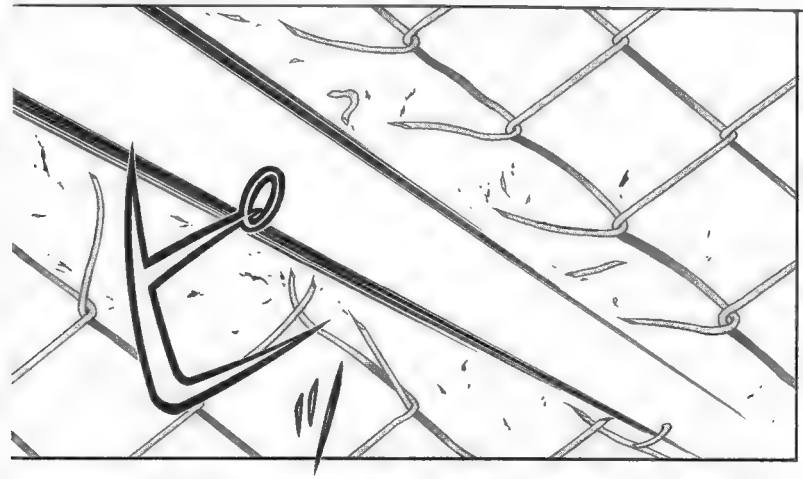
場合によっては
貴様を封じねばならん
どうだ
魔法使い同士ひとつ手合わせしてみんか？

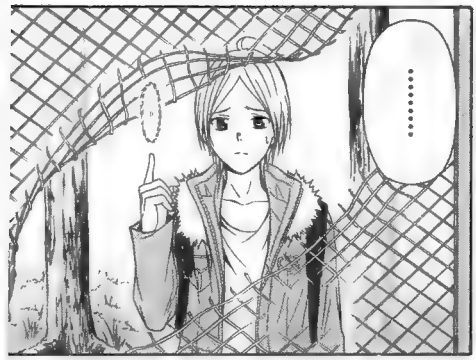
——オレは吉野対策に手を貸す
メキ…
そのかわりあんたらは愛花を殺したやつを見つける
その取引でいいか？
…わかった
ガラン
ああ
難しくも悪くもない話だろう？

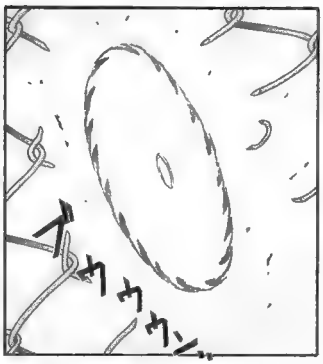
とりあえず
あんたらの思い通り動いてやるよ
……
吉野恩に着ろよ
ついでにお前を守ってやるよ

絶園のテンペスト

第十九話：厄介にもほどがある

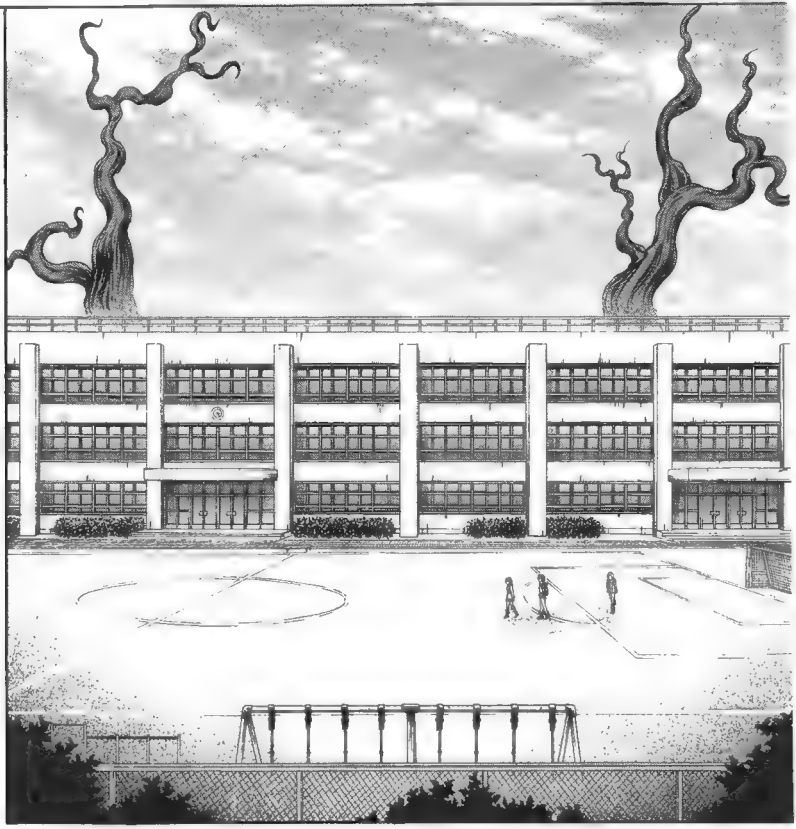



……


ブゥウウン…

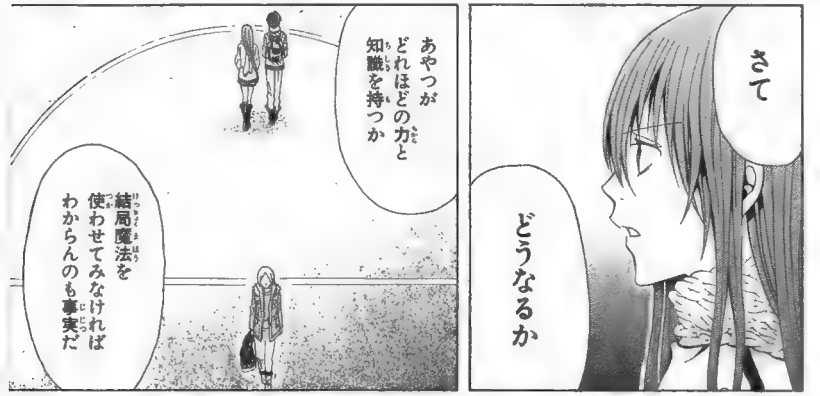
ええええと…
いいのかな？
フェンス壊して
こんなとこ
入っちゃって？

心配するな
後で
直しておく



羽村
二十メートルほど
離れろ
それくらい距離が
あった方がお前も
魔法を使いやすかろう
は はい

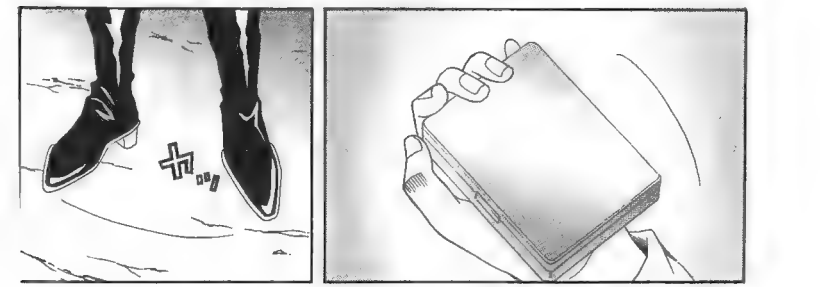
いきなりあの人と手合わせって…
危なくありませんか？


さて
どうなるか
あやつがどれほどの力と知識を持つか
結局魔法を使わせてみなければわからんのも事実だ

それに
人を殺せる人間かどうかもな

あれが本物の「絶園の魔法使い」で真広の妹を殺した犯人なら
なるべく吉野を関わらせん方がいい
また余計なことに巻き込んで傷を負わせんとも限らん

ア…
トン
案するな
「はじまりの樹」の一部覚醒後私の力はまた飛躍的に上がっている
その私が負けるようなら
ゴッ
この世であやつに勝てる者はいないぞ？


カッ

吉野
お前は私の後ろにいろ
そこが一番安全だ
ルールは簡単だ
魔法を使って私の片膝でも地面に付けさせろ
そうすれば貴様の勝ちだ
勝てば貴様の知りたいこと全て教えてやろう

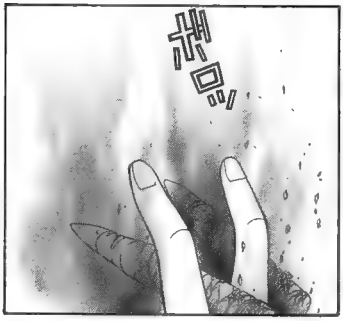
えと…
じゃあ…
どうなれば
僕の負けで
しょうか？

心配するな
ス。。
後で治してやる

ええっ!?

貴様の腕の
どちらかが
逆方向に
曲がったら、だ

樹の中の樹
大樹の中の大樹
我が名において
聞き届けよ


ボロッ

え……!?

ゴ
う？
ええっ!?

鎖部一族の魔法に攻撃魔法はない
しかし防御フィールドを応用すれば遠距離の相手を倒すこともできる
っ……？
……？
ベシャ
うわっ…
ミシャ
くっ…
がっ…

防御フィールドの形状は

術者のイメージと制御能力によって
いかようにも変えられる

とは言ってもただ単純に
半球型フィールドの半径を
倍にするだけでも

ガッ

相当の熟練と
消耗を要するがな

だが

私ほどになれば
わずかな供物で

ヒュル

ヒュル

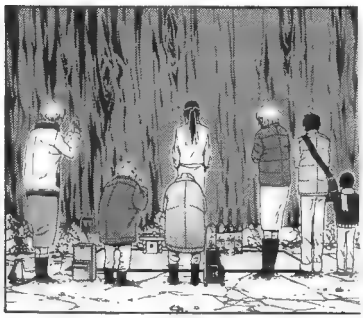
フィールドの一部
だけを樹の枝のごとく
いくつも伸ばし――

何十メートルも
離れた相手を
打ち倒すのも可能だ

ヒュゴオッ
タン
ガ
がはっ
ど……
どうなって
るんだ!?
これも
魔法(ま ほう)!?

防御魔法ってこんな風にも使えるのか？
これじゃ葉風さんに触れるどころか近づくことさえ無理じゃないか？
羽村貴様が本物なら
これくらいの魔法たやすく破壊できるぞ？
ゴボッ
ゴボッ
貴様に私を殺しこの世の理を変える力はあるのか？

「はじまりの樹」
出現後
中にはああして
拝む人も少なくない



「はじまりの樹」は
お前らの神様だろ？
でたらめに
宗教法人化されて
いいのか？

それどころか
ちょっとした
新興宗教って感じで
いくつも団体が
できてるくらい

良くはないが
そういう輩が多すぎて抑えようがない
第一――
そういや左門
他の鎖部一族の連中はどうしてるんだ？
動ける者は全国に散らせて情報収集をさせているが
「復活の儀式」の際激しく消耗して
一時的に魔法を使えなくなっている者も多い
それぞれの生活もあって
コツ
活動できているのはごく少数だ
……
揮んだところで「はじまりの樹」は何を応えるでもない
その時になればかの大樹は我ら鎖部の民さえ顧みず世界をそっくり改変しよう

じゃあ政府の方はどうなんだ？
現状、どんな手を打ってる？
何も
表向き「はじまりの樹」と「絶園の樹」を調べるふりはしているが
これ以上何も起こらないことを願っているだけで実質動いちゃいない
手を出して事態が悪化するのを恐れてるんだ
典型的なお役所仕事だな
魔法の知識も正確な情報もあるあんたらがいて
何やってんだよ？
——ねえ真広君
「魔法」なんてものがあると主張して強引に事を動かし
結局全滅させて世界的被害も止められなかった責任者が
まだ同じ立場にいられると思う？

あ――
そうか
そうだよな――
ムス…
かつての出世頭
若手のフィクサーと
言われた早河も
今じゃ黒鉄病関連の
統計資料作成係なんて
閑職に飛ばされてるのよ
組織内での権限は
前に比べて
ゼロに近い
ていうか完全に
外されてる
派閥争いしてる
場合かよ?
情報持ってる
あんたを左遷して
どうすんだ?
組織とは
そういうものだ
不合理で非効率で
あろうと出世競走の
相手は隣あらば
蹴落とす
それで組織が
潰れるとは
考えもしない
今や政府内では
私のように転落するのを
恐れ「魔法」の話自体が
タブーだそうだ

中には危機感持って
早河に情報流す人も
いるけど
前みたいに
超法規的に動くのは
難しくなってる
私は好きで
手伝ってたから
立場はそんなに
変わらないけど…
悪いこと
ばかりではない
もともと鎖部一族は
権力に魔法を利用
されるのを避けてきた
こやつらが今も
政府中枢にいたなら
我らは間違っても
手など組んでおらん
って言っても
中枢にいないやつと
手を組んでも
大したメリット
ねえだろ?
…つまり
あれか
オレは
弱体化した
魔法使い集団と
左遷組の
チームなんて
頼りないもんの
仲間に入っちまった
ってことか?

そういうことだな
思ったより当てにできねえ連中だな…
――逆に言やオレが勝手をやれる部分も大きくはあるな
そこは悪くねえ
愛花を殺したやつが見つかった時……
ニィ
つまらねえ邪魔されたら
たまんねえとこだったしな

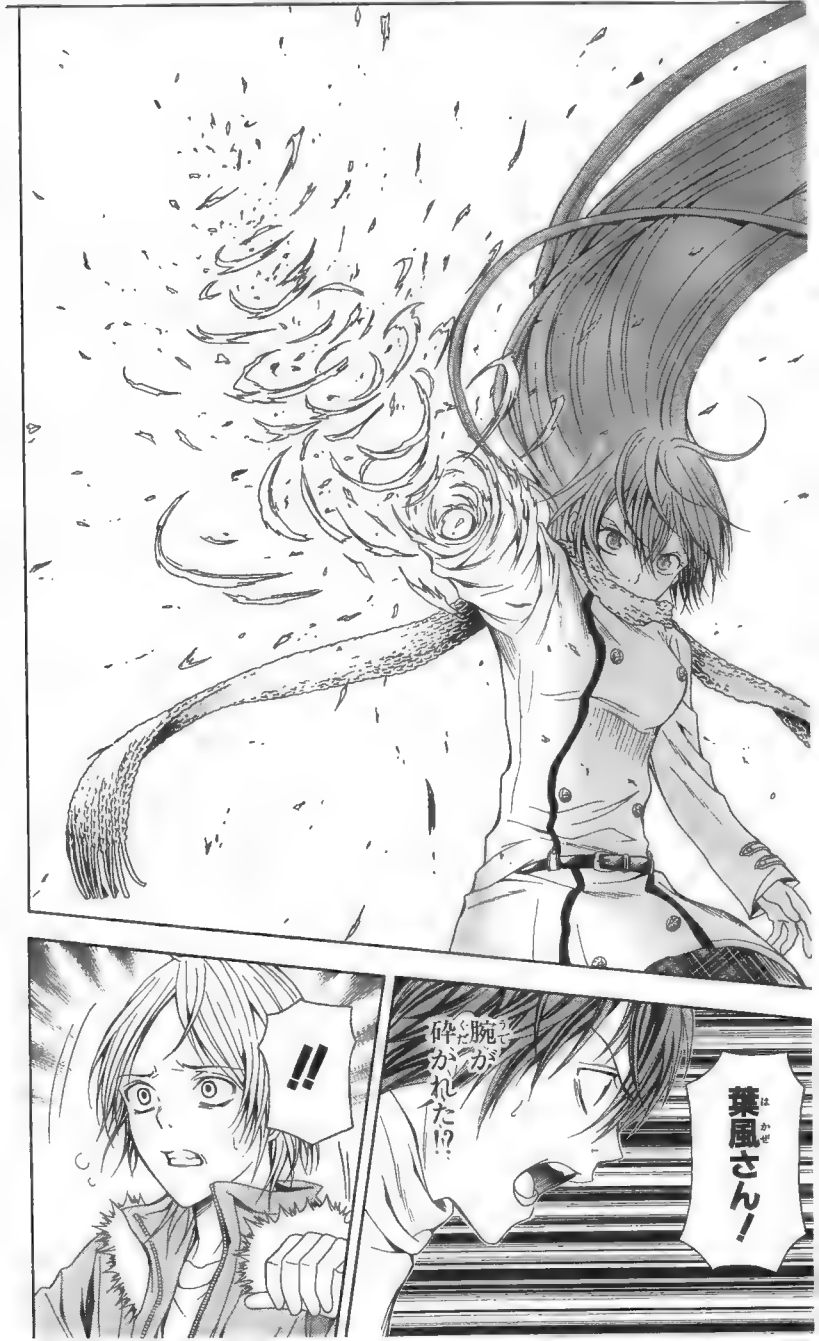
ハァ
ハァ
ほう…

ようやく魔法が使えるのを思い出したか？
そうだ魔法だ
僕には魔法が使える
これくらい何てことない！
あの人は悪い人に見えない
僕への攻撃も手加減してるみたいだ
あの人は確かめようとしてるんだ
僕に世界を救う力があるかこの先戦う覚悟があるか
あの人は多分敵じゃない
それどころか僕を導こうとしてくれてる
これはいわば試練だ！

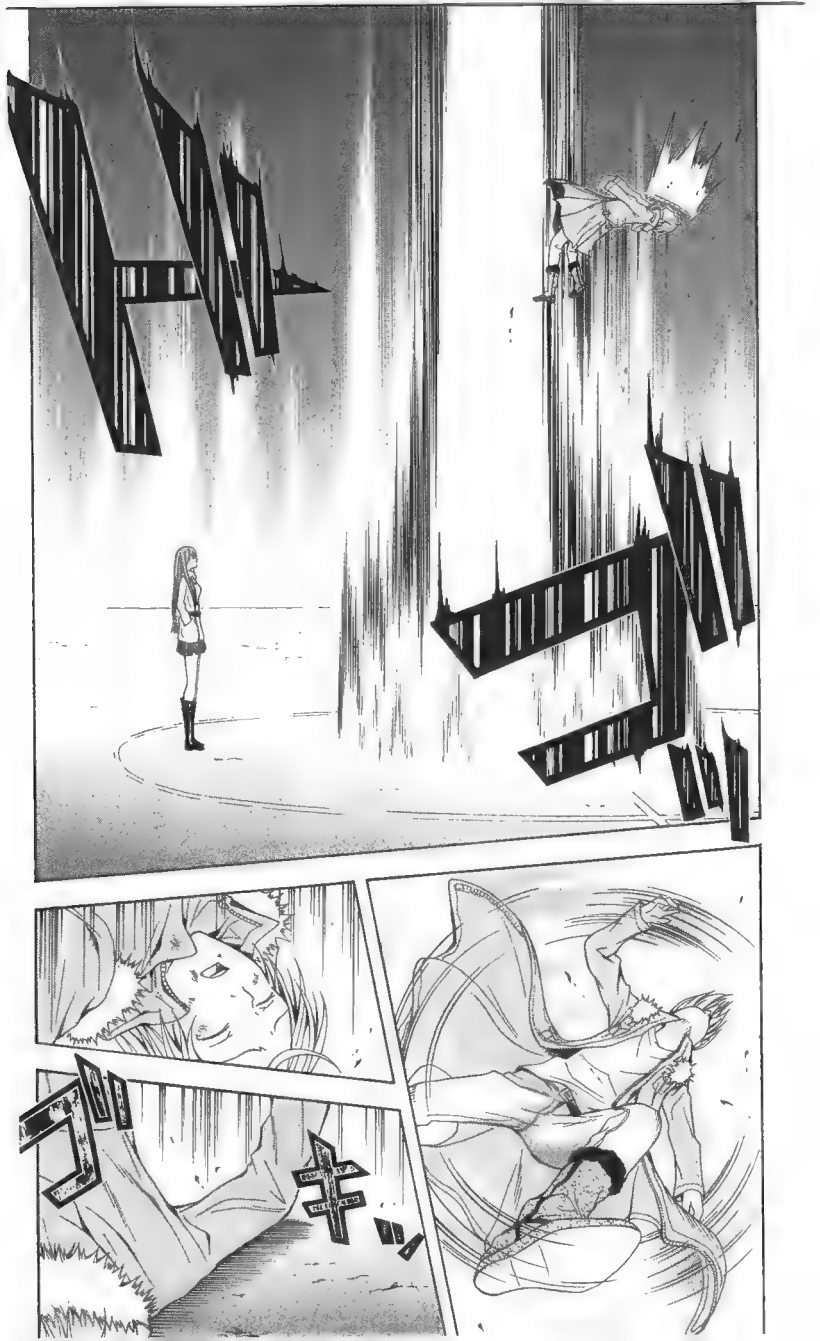
これに応えないで
世界が救えるもんか！
敵じゃないなら
殺されたり、実際に
ひどいことはされない
戦いの後も気持ちよく
握手だってできるはずだ
なら怯える
必要はない
スゥ――…
やれる気が
してきた
ぼんやりしてた魔法の
使い方がなんだか
急にわかってきた
僕の遺伝子に
組み込まれて
たのか
そんなのが次々
目覚めてるような…

行きます！
さて
どこまで来れる？
ボッ
ボッ
ガッ

バシュウウウ
もう
それは
通じません！
斬り裂けっ！


葉風さん！
腕が砕かれた!?
!!

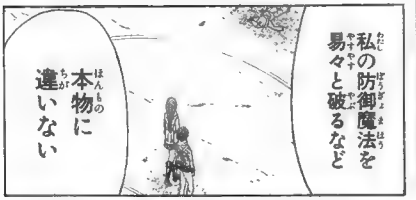
う
うわっ
て……
手が
どうしよ…
この私が
腕一本
再生できんと
思うか？
肉が散った
くらいで
取り乱すな
軟弱者



ダシャッ
む
本当に逆に曲がったか？
冗談だったのだが……
ダッ
脅かさないでくださいよ
葉風さん……
すまん
脅かすつもりでは
右腕は神経接続も血流も最小限にし
砕けると同時に再生する魔法をかけておいたのだ
わざと攻撃を受けたんですか？
ああ

あやつの反応を見るのにな

…力は確かに「絶園」のものだ
ザッ


私の防御魔法を易々と破るなど
本物に違いない

だが見た通り
あやつに人は殺せんな

仮に殺せたとしてもその重圧に耐える心はあるまい
心がともなわぬ力など意味はない

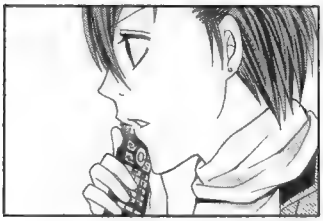
「絶園の者」として不完全過ぎる

じゃああの人は
愛花ちゃんを殺した犯人じゃない？

…わからん
演技や別人格を隠し持っている可能性までは否定できんが…
じゃあ他に
「絶園の力」を持つ魔法使いがいるとか？
長く封じられていた「絶園の樹」だ
グイ…
大部分が復活したといえ
私を殺せるほどの魔法使いを何人も生む余力があるとは思えん
ポウ
半端者をいくら生んでも、ものの役には立たんだろう
ポウ…
フ…

吉野
早河とやらの所に連絡を入れろ
「絶園の魔法使い」が見つかったが
本人が希望すればそちらに寄越すがどうか、と
いいんですか？
あちらの管理下に置くのが適切だろう
この者のためにもな
それなりに細工はしておくが…
ひょっとするとこやつの精神面をフォローできる…
「力」は持たんが「絶園の心」だけを持つ者がいるのやも？
何らかの理由があって力と心を二つに分けた？

あらゆるものを
破壊して揺るがぬ
「絶園の心」か
魔法よりもそちらの
方がよほど怖いかも
しれん……



オレを目覚めさせるの
吉野と葉風は了承してないだと？

そう

取り決めでは
キミの妹を殺した犯人に
目処がつくまで
眠ったままで
いてもらうことに
なってたんだけど
私たちには
キミが必要だから
あの二人に無断で
目覚めさせたの
吉野君は一年くらい
キミに眠っていてほしい
感じだったし
あの野郎
オレとの約束
守るの嫌がって
やがるな
まあ
あいつからすれば
葉風とオレの
両方の面倒は
見てられねえか

何のかんの言っても
吉野君のこと信頼してるのよねえ……
だから
当分あの二人との接触は禁止ね
あくまで二人に隠れて動いてもらうから

吉野には
直接聞かなきゃならねえことがあるんだがな
妹さんの彼氏のことでしょ？
その約束は知ってるけどここは我慢して

また何か吉野の思い通りの展開になってねえか？

いつまで不破真広にあの可能性を隠しておく？
いずれあれは自力で気づきそうだが
意外に盲点のようだがな
こちらが思うより滝川吉野への信用は高いらしい
うむ

それも含めて
あの少年を殺せるかと訊いたわけではあるが…

まったく
厄介にもほどがある

滝川吉野が
「絶園の魔法使い」
かもしれないとは

よくよく考えてみれば
滝川吉野という
少年の存在は——
「はじまりの樹」の理から
ことごとく外れた結果を
もたらしている
現在あの少年の存在に
姫様は強く影響され
場合によれば
「はじまりの樹」を
滅ぼすのが正しいとも
思い込まされうる状況だ

これが正常な理とは思わん
実は富士においてもあの少年の存在はおかしかった
一見あの少年は「はじまりの樹」の理に沿って——
姫様を救ったかに見える
だがあらためて検証すれば——
富士に滝川吉野がいなくとも
姫様は現代に戻れたのだ

滝川吉野が
私と不破真広の取引に
割って入らずとも
鎖部一族の中に
不破真広の妹を殺した
犯人は見つけられなかった

なら
滝川吉野がいなくとも
犯人が見つからなかった
時点で——

取引は最初から
不成立だったのだ

姫君は
「絶園の魔法使い」
犯人説を導き
出したろうな

すると一転
論理はあんたらを
不破真広の敵にする

そうなれば
不破真広は
再度姫君と
手を組み——

独力で
「時間の檻」を
破る方法を
見つけるか

あるいは魔具を
発動させるかして

姫君を現代に
戻す選択をしたろう

取引が
成立しなければ
滝川吉野が
いなくとも
そうなったはずだ

——そう

滝川吉野が
何もせずとも
姫様を現代に
戻す道は
開かれた

「はじまりの樹」は
あの少年を必要と
しなかったのだ
逆にあの少年の
行動によって
「はじまりの樹」に
不利な現状が
もたらされた

滝川吉野は
放っておいても
まるで害のない状況を
自分から複雑にし――
それがなぜか
解決される異常性を
突きつけて
「はじまりの樹」への
不信感を生み出した
わけだからな
そして姫君の
心を奪って
いったんだ
「はじまりの樹」に
すれば話が違い
すぎるだろう
あの少年は
表面的には
物語の主人公的な
活躍をしているが
実際は正しい
「はじまりの樹」の
物語を狂わせ
理を曲げた
イレギュラーな
存在でしかない

そんな存在は
「絶園の魔法使い」以外
まず考えられん

今の姫君に
そうと教えても
信じやしない
だろうな
恋する娘に
理屈は通じん
ひどい中傷をしていると
軽蔑されこちらがさらに
信頼を失うだけだ
滝川吉野が
疑わしくとも
姫機から
引き離すのは当分
無理であろう

もしもし…

もし滝川吉野が「絶園の魔法使い」なら――
見事な仕事をしているな
魔法を使わずして「はじまりの樹」の理を歪め
その命運をほぼ握ってみせたんだ

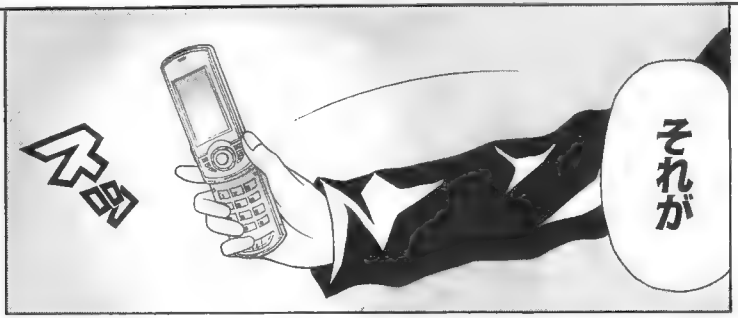
うむ…

「絶園の樹」は「魔法」では勝てぬと見て
知略によって「はじまりの樹」を追い詰めようとしているのやも

むしろ魔法を使わぬゆえ誰にも気づかれず
謀略を巡らせられたとも言える

――すると

不破真広の妹を
殺したのも
滝川吉野となるが
そこまで
言い切れるか？
その死によって
あの少年らが
我らに関わることに
なりはしたが……
……
ちょ
ちょっと
いい？
どうした？


それが
ストラ

吉野君から
「絶園の魔法使い」が
見つかったけどそっちに
寄越していいかって……

絶園のテンペスト

次巻予告

「絶園の力」を使う羽村…、

「絶園の魔法使い」には

ある殺人容疑がかかっているの

不破愛花・殺人容疑取り調べ、

くどくど訊く気はねえ

ひとつだけ答えろ

彼にアリバイは―!?

今から約二年前 十二月二十三日 午後十時から午前零時の間

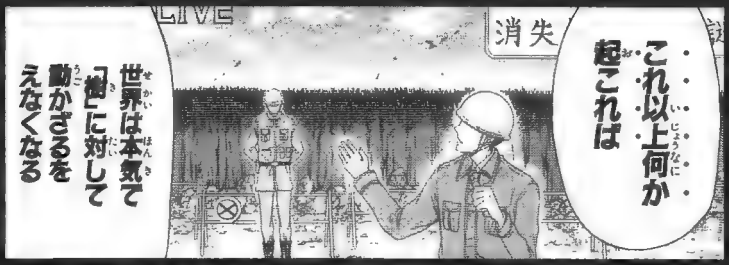
お前はどこにいた?

普通二年以上前に何やってたかなんて答えられるもんじゃねえ

アリバイがある方がおかしいくらいだ

そして――、
吉野に恋をしている葉風、
葉風ちゃん
吉野君に恋してるよね？
その淡い恋の行方は…？
はあ？

「はじまりの樹」の理は、
亜城ちゃんが吉野君との関係を築く気なら
その彼女「はじまりの樹」に殺されるよ
すべてにおいて絶対なのか――…。
そう言う私を裏切る度胸が
吉野さんにはありますか？



早河が進める計画で、
この世界はどう変わっていくのか…？

［絶園のテンペスト］第5巻へ続く!!

To be continued

原作者あとがき

あれこれ小説やコミックを読んだりしていると、登場人物の名前を覚えるのはけっこう手間取るものです。国内作品でも人数が多いと登場人物表がありがたくなりますし、海外作品では登場人物どころか作者名を覚えるのも大変になってきました。

海外作品でも昔の英米ものだと作者も登場人物もおおむね英米系でまとまっており、名前の傾向もなんとなく慣れているので頭に入りやすいのですが、ある時期から作者も物語の舞台も登場人物もワールドワイドになりだし、いったいこの人はどこら辺の国の人なのか、どちらが姓でどちらが名なのか、いったい男なのか女なのか、狭い世界で生きておりますと、名前だけからは直感的にはわかりません。そして耳慣れない音だったりすると、どうにも覚えづらかったりします。

ちなみにこの巻収録の第十六話のサブタイトル「しばし天の祝福より遠ざかり……」はあるSF短編の題名なのですが、その作者の名前はソムトウ・スチャリトクルといいます。日本と縁深い作品も書いておられるのですが、私は覚えるのに時間がかかりました。

とはいえ「フロイライン山本」という通称の登場人物がおり、作者からして「城平京」とかいう深夜に適当につけたみたいな名を名乗っている段階で、名前のことをとやかく言う資格はないかもしれませんが。

どうでもよさそうな枕で始まりましたが、原作担当の城平京です。いろいろ変化も激しい第4巻です。

新キャラも登場し、物語の舞台も広がり出しました。

しかしながら4巻にいたっても物語はおおむね十人前後の登場人物で回っております。名前のない脇役や、名前はあるけど姿はない脇役はちょこちょこといるものの、軸となるのはやはり十人程度です。キャラクターの名前もなるべく簡単で、どこかで聞いたことのあるような音のものを選んでいたりします。これからも物語の舞台は世界やらどこへやら広がっていきますが、その傾向は変わらないでしょう。

そうしている理由はやはり、物語構造がいささかややこしいので、読者の皆様がキャラクターくらい苦労せずに覚えられるようにしよう、という真心ゆえであります。

まかり間違っても、記憶力が低下してきた作者自身が登場人物が多いと名前を覚えられなかったり存在そのものを忘れてしまったりうっかり似たような名前をつけてしまったりするからではありません。そんなことはありません。羽村、夏村、星村と「村」のつく名が三つも揃ったのもうっかりではありません。

いえ、ほんとすみません、うっかりです。以後、気をつけます。

さて次巻は意外にも、と言いますか、ラブコメ編です。物語はちゃんと動いていきますが、パンツ一丁だった姫様も服を着ると普通の女の子らしく恋に悩んだりするのです。まあ、設定が設定ですので、素直な悩み方になりそうもありませんが。

では第5巻でお会いできることを祈りつつ。

城平京

左有秀あとがき

「絶園のテンペスト」第4巻です。単行本を手に取っていただき、ありがとうございます。構成の左有秀です。

この作品には「はじまりの樹」と「絶園の樹」という、想像を絶する高さと大きさを持った樹が登場するわけですが、二つの樹には描く上でモチーフになっている日本画があります。絶園の樹は主に、長谷川等伯「松林図屏風」、はじまりの樹は狩野永徳「檜図屏風」、狩野山雪「老梅図」です。とても有名な日本画ですので、教科書や美術書で目にしている方も多いかと思います。詳しい御託や解説は抜きにしても、この日本画の樹から感じる生命力には圧倒されます。画面からはみ出さんばかりにのたうち曲がりくねった幹や枝、かさかさとした樹の肌、空を分断するような構図で描かれる枝を見るたび、畏怖の感情さえ呼び起こされます。

二つの樹の対決を描いている時に、長谷川等伯の日本画を見る機会に恵まれました。屏風に墨のみで描かれた大きな松は、とても静かな佇まいで、荘厳さの中に少しの寂しさを感じるような絵でした。松の根っこの部分に、何故か惹かれる絵でした……。

「はじまりの樹や絶園の樹は、神の樹ということで、得体の知れない恐ろしさをかもし出していかなければならないのですが、日本画の大家が描かれた木々の生命力や力強さ荒々しさ、同時に繊細さを、少しでも二つの樹に投影できればいいな、と思っています。

それではまた次の巻でお会いできれば幸いです。

ありがとうございました。

絶園4巻!! お手にとっていただき

ありがとうございます! 作画担当の彩崎です
何書いたらいいか迷いに迷ったあげく、ベタにキャラについて書いていきます。ちょっと大きく描き過ぎて2人しか入らなかった…

まひろ

最初の頃は1番描きにくく1番気を使いました…
でも今じゃ1番描いてて楽しいです。
よく「真広みたいな服着てるね」と言われますが違います。逆!! 自分の着てる様な服を真広に着せてるだけです。
そういう意味でも描いてて楽しい。

よしの

吉野はヒロ較的最初から描きやすかったです。普通っぽいからでしょうか…(普通じゃなかったけど)
でもキャラデザ起こした時は最初短髪っぽかったんですが「もっと普通っぽいイケメン風に!」って言われました。
普通っぽいイケメン風って何。

次巻へつづく かもしれない

ガンガンコミックス

絶園のテンペスト
~THE CIVILIZATION BLASTER~

絶園のテンペスト 4

2011年8月22日 初版
2012年9月12日 4刷

原作/城平 京
構成/左 有秀
作画/彩崎 廉

©2011 Kyo Shirodaira
©2011 Arihide Sano
©2011 Ren Saizaki

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉 TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉 TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所 図書印刷株式会社

○本書の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、転載、複写、複製、公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、翻訳、翻案など行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。また、個人、家庭内又はそれらに準ずる範囲での使用目的であっても、本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャン、デジタル化等複製する行為は著作権法で禁じられています。
○乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。
○定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN978-4-7575-3253-3 C9979